バスク州





EUSKADI
BASQUE COUNTRY



おすすめプラン！

バスク自治州には、個人、グループ、ご家族向けの旅行プランがいくつも存在します。

帰国後には誰かに話したくなるような、忘れられない体験になるでしょう。あなただけのお好みのプランを見つけて、存分にお楽しみください。

ウェブサイト　tourism.euskadi.eus/en
をご確認いただくかこのQRコードをスキャンしてください。

etikoa
Turismo Euskadi

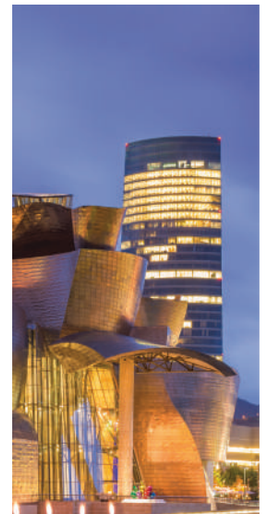
責任ある観光

バスク自治州観光倫理規範は、8つの基本原則を定め、全ての旅行会社が責任と持続可能性を日常業務に組み込むことを目的としています。

「責任ある観光ガイド」には、皆様の旅を豊かで持続可能なものにするため10のヒントが掲載されています。本パンフレットでは、これらのヒントをご紹介しています。

記事：2024年7月　／　発行部数：200
協力：バスク自治州政府観光・商業・消費局　／　製作： Bell Comunicación
編集者： Eusko Jaurlaritzaren Argitaipen Zerbitzu Nagusia / バスク自治州政府中央出版局
テキスト・写真： 著者多数　／　印刷：Grafilur／D.L.：VI 361-2017

本カタログに掲載されているテキスト、地図、画像の全部または一部を、出版社および著者の事前の許可なく複製することを固く禁じます。







バスク



















6　ビルバオ
12　サン・セバスティアン
18　ビトリア＝ガステイス
24　リオハ・アラベサ
30　バスク海岸
34　バスクの丘陵と渓谷
38　エコツーリズム
46　ガストロノミーとワインツーリズム
52　バスクルート
56　ファミリーツーリズム
60　産業ツーリズム
64　ミュージアム
66　インフォメーション



EUSKADI
BASQUE COUNTRY

バスク州にはいくつもの必見観光スポットが存在します。そこで、絶対に見逃せないスポットを厳選してご紹介します。もちろん、魅惑のスポットはまだまだ無数にあります。

いずれわかることでしょう。

バスク地方の 10 の見どころ

① ビルバオ


⑥ サン・ファン・デ・ガステルガチェ

② サン・セバスティアン


⑦ ウルダイバイ

③ ビトリア＝ガステイス

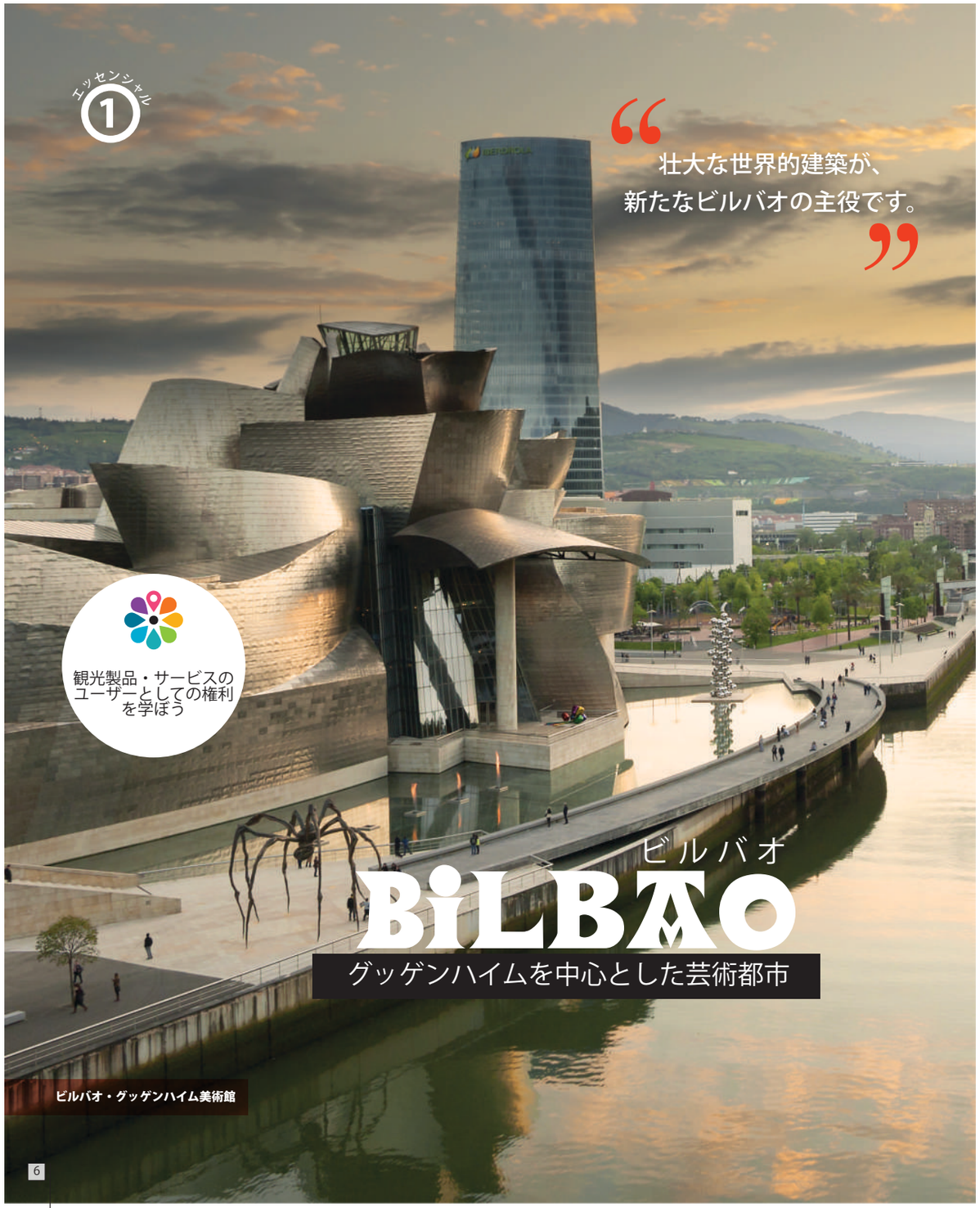

⑧ クリストバル・バレンシアガ美術館

④ ゲルニカ議事堂


⑨ ロイオラ聖堂

⑤ ビスカヤ橋


⑩ ラグアルディア



芸術と建築が息づく街 ビルバオ

バスク地方で最も人口の多い都市、それがビルバオです。かつては産業都市として栄えましたが、現在では暮らしやすさと文化が調和する芸術都市として世界の注目を集めています。

この街の大きな転機となったのが、1997年の**ビルバオ・グッゲンハイム美術館(Museo Guggenheim Bilbao)**開館です。建築家フランク・ゲーリーによる革新的な建築と、世界的な現代アートの展示は、訪れる人々を魅了し続けています。


プピー

美術館の前には、記念撮影必須である、ジェフ・クーンズ作の巨大な花の犬、**プピー(Puppy)**が来館者を出迎えています。

「グッゲンハイム効果」によって、この街は芸術都市として、世界的な注目を集めました。美術館に留まらず、街全体が建築とアートの融合によって彩られていることも、ビルバオの大きな魅力です。


フォステリトス

地下鉄の出入口には、建築家ノーマン・フォスターによるガラス構造のデザインが採用されており、**フォステリトス(Fosteritos)**の愛称で市民に親しまれています。

また、旧ワイン・オリーブオイル倉庫を文化複合施設として再生した**アスクナ・セントロア(Azkuna Zentroa)**も必見です。

こちらはフィリップ・スタルクによる設計で、街の現代性と創造性を象徴する空間となっています。


アスクナ・セントロア

ビルバオを象徴する建築物

バスク州で最も高い超高層ビル「イベルドローラ・タワー」、ツインタワーが印象的な「イソザキ・タワー」、そして優美な白いアーチが目を引く「スビスリ橋（サンティアゴ・カラトラバ設計）」などは、いずれも街の近代化を象徴するランドマークです。さらに、ビルバオ空港のターミナルもカラトラバの設計で、「ラ・パロマ（鳩）」の愛称で親しまれています。

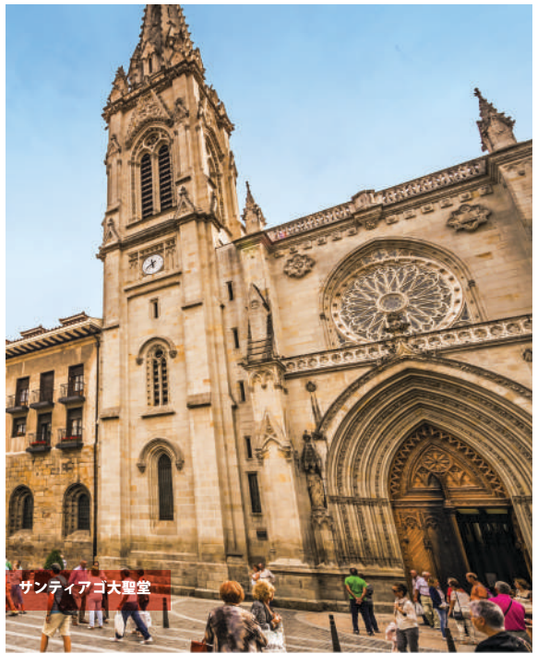
緑に包まれた「アバンドイバラ通り」は、散策やカフェ、ショッピングに最適なエリア。地元の人々と観光客が自然に行き交い、ゆったりとした時間が流れます。

芸術に興味をお持ちの方には、「ビルバオ美術館」の訪問をおすすめします。エル・グレコやゴーギャンといった名画に加え、バスク出身の現代作家による作品も多数収蔵。

歴史あるエル・エンサンチェ地区では、鉄道駅「ラ・コンコルディア」や荘厳な州議会議事堂、格式高い「カンポス・エリシオス劇場」、そして地元で長年親しまれてきた「カフェ・イルーニャ」など、ビルバオならではの街並みに出会えます。

最後に、街の歴史を芸術とともに辿る**パセオ・デ・ラ・メモリア（Paseo de la Memoria)**も忘れずに訪れてください。ダリやチリーダといった巨匠たちの作品が点在するこの散策路では、静かにアートと向き合う贅沢なひとときを過ごせることでしょう。

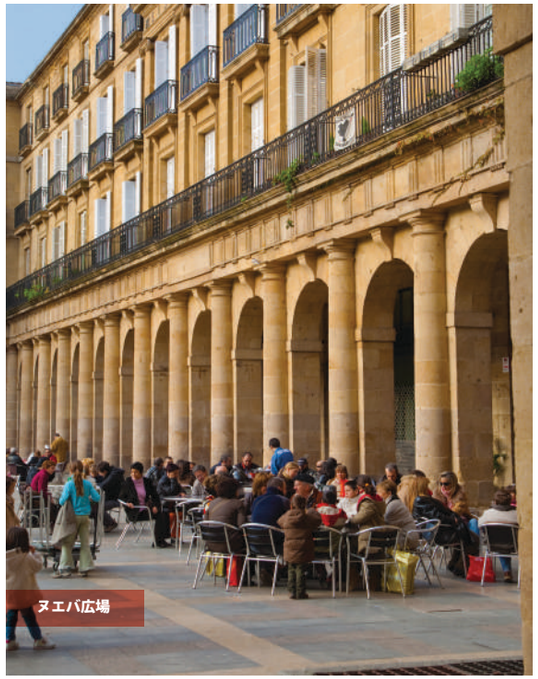

パセオ・デ・ラ・メモリア


サンティアゴ大聖堂

若々しい鼓動が息づく旧市街

地元の人々にとって特別な地
CASCO VIEJO(カスコ・ビエホ)
ここは、1300年に誕生したビルバオ発祥の地。
現在もこの街の古き良き街並みは
変わらぬ活気に満ちあふれています。




ヌエバ広場

ビルバオの旧市街、**カスコ・ビエホ(Casco　Viejo)**は、かつての城壁内に広がる歴史あるエリアです。ソメラ通り、アルテカレ通り、テンデリーア通り、ベロスティカレ通り、カルニセリア・ビエハ通り、バレンカレ通り、バレンカレ・バレナ通りの7つを中心に構成されています

ここでは、バスクの伝統的なバル文化「**チキテオ**（Txikiteo）」を是非、ご体験ください。チキテオとは、友人や知人と連れ立ってバルを巡り、グラスワインやチャコリとともにピンチョス(一口サイズの軽食)を楽しむ、地元ならではの習慣です。美食満喫しながらの会話は、旅の思い出としてきっと心に残ることでしょう。


チキテオ

その他にも、「プラサ・ヌエバ」や「ハルディネス通り」、「サンタ・マリア通り」には、昼夜問わず、美味しいピンチョスを提供するバルが軒を連ねています。地元の人々がデザート食べながら即興で歌を披露する、昔ながらの風景に出会えるかもしれません。

常に活気に満ちた旧市街

カスコ・ビエホ地区は、早朝から深夜まで活気に満ちたエリアです。特に1983年の大洪水を経験した、街は


アリアーガ劇場

見事に復興を遂げ、現在では400軒を超える多彩なショップと、200軒以上の飲食店が軒を連ね、地元の人々に長年親しまれています。中でも「リベラ市場」は、ヨーロッパ最大級の屋内市場として知られ、ビルバオの食文化を肌で感じられる絶好のスポットとなっています。

「ボチョ(Bocho)」の愛称で親しまれるビルバオ

谷間に位置するビルバオは、地元の人からくぼ地を意味する「ボチョ」の愛称で親しまれています。

この町の人々は、**ベゴーニャの聖母**を深く敬っており、多くの祭事にその名が登場します。ウナムノ広場から311段の階段を上った先にある聖堂や、近くのエレベーターを使って気軽に訪れることもできます。
船乗りたちが出航時、聖母が見えなくなる瞬間に「ラ・サルベ（聖母賛歌）」を口にしていたことから、「ラ・サルベ橋」という名が残されています。

町を見渡すならアルチャンダのケーブルカーへ行くのがおすすめ。自然の緑と都市の高層ビルが融合したパノラマが広がります。

本来のビルバオの雰囲気を味わいたいなら、旧市街（カスコ・ビエホ）へ。ここには**サンティアゴ大聖堂**、歴史ある**プラサ・ヌエバ**、古い遺跡の上に建つ**サン・アントン教会**、アリアガ劇場やアレナル公園、考古学博物館など見どころが満載です。

歩き疲れたら、老舗のカフェで一息つくのもおすすめです。

おすすめプラン！

8月後半に訪れるなら、ビルバオ最大のお祭り「**アステ・ナグシア（大祭週間）**」の賑わいが楽しめます。シンボルキャラクターの「**マリハイア**」が街に陽気なエネルギーを振りまき、盛大な祝祭ムードに包まれます。


マリハイア


スビスリ橋

Ria～河川～
ビルバオの動脈

“ビルバオの歴史を語るうえで、河川との関係を切ることはできません。
この街を知るということは、河川を知ることなのです。”

ビルバオの産業発展は、河川と共にあると言っても過言ではありません。内陸に位置するビルバオですが、港町の**ポルトゥガレテ**まで、河川を通じて大型船の往来がありました。そのため、ビルバオ周辺の河川の両岸には、造船所などが建築され、1980年代まで産業の中心地として発展していきました。この水路は、今では地元の人々には癒しを、観光客には感動を与える場所となっています。

河川に架かる橋にも歴史があります。例えば、**サン・アントン橋**はビルバオ市の紋章にも描かれ、**リベラ橋**や**メルセ橋**は古き街の面影を今に伝えています。さらに**アレナル橋**を渡ると、風格ある建物が並ぶ新市街**「エル・エンサンチェ」**へとつながります。産業の発展とともに、一部の橋は大型船舶の航行に対応するため可動式に改修されました。

現在の河川には、現代的なデザインの橋や歩道橋が多く架かり、街の新たな顔となっています。白く美しい**ズビスリ橋**、グッゲンハイム美術館と一体化している**ラ・サルベ橋**、緑豊かな空間をつなぐ**ペドロ・アルルペ橋**などが挙げられます。また、かつての同名の造船所跡地には、**El Puente Eskarduna(エスカルドゥナ橋)**が架かり、国際会議場・音楽堂が建っています。その隣にはイツァスマ博物館（海事博物館）があり、対岸には旧造船所の大型クレーン「ラ・カロラ」が今も力強く立っています。

観光用のクルーズ船に乗れば、陸から見るのとは違うビルバオの魅力を体感することができることでしょう。建築物のデザインなど、天候や時間によって表情を変える街のリズムを楽しめる絶好の方法です。
特に、観光客から大人気の**Puente Bizkaia（ビスカヤ橋）**は必見です。

ビルバオのボートツアーHP：
www.bilboats.com

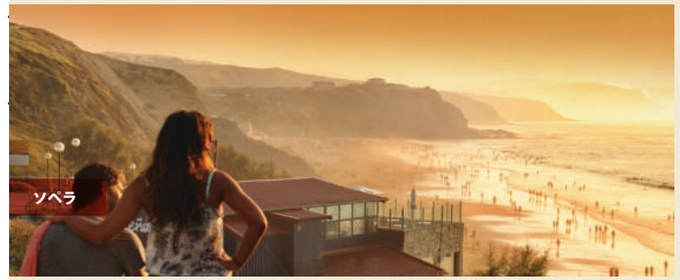
www.elbotebilbao.com


エウスカルドゥナ

おすすめプラン！ビーチという新しい魅力

地下鉄が開通し、ビルバオに住む人々の中でビーチがより身近なものとなりました。多くのビーチは右岸側にあり、家族向けのビーチから、サーフィンに最適な波を誇るビーチまで様々です。エレアガ、アリグナガ、アリアテラ、バリナチェなど、さらに進めば、川沿いを歩きながら海へと続く、美しい漁師町プレンツィアに辿り着きます。川岸には、地元の人たちがイカ釣り（チピロン釣りに使う小さなボートが並ぶ光景も見ることができ、きっと心を和ませてくれるでしょう。

地下鉄HP：www.metrobilbao.eus


ソペラ

エッセンシャル 2

“この街の持つ美しい入り江と3つのビーチは、
散策せずにはいられないほど人々を魅了する”

多様性を尊重する

サン・セバスティアン/ドノスティア

SAN SEBASTIAN/DONOSTIA

海に彩られた街の比類なき美しさ

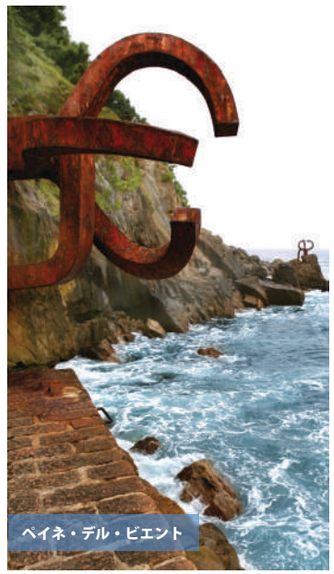


ラ・コンチャ海岸

貝殻のビーチ「ラ・コンチャ」

サン・セバスティアン（バスク語名：ドノスティア）は、美しい湾と文化が共存する魅力あふれる街です。到着してすぐ目に入るのは、世界的に有名なLa Concha(ラ・コンチャ海岸)は、湾全体が貝殻のような優雅な弧を描いていることから名付けられました。白砂のビーチと穏やかな波が広がり、四季を通じて散策や日光浴を楽しむ人々でにぎわいます。

湾の西側、オンダレタビーチ沿いを歩くと現れるのが、**Peine del Viento(ペイネ・デル・ヴィエント)**。彫刻家エドゥアルド・チリーダと建築家ペーニャ・ガンチェギによるこの作品は、海と風が生み出す自然の力を象徴し、訪れる人々に深い感動を与えます。



ペイネ・デル・ビエント

周囲には**イゲルド山、ウルグル山、ウリア山**、そしてラ・コンチャ湾の中央に浮かぶ**サンタ・クララ島**があり、街を取り囲む自然の風景はまさに絶景です。イゲルド山へはケーブルカーで登ることができ、頂上からは市街と海岸線を一望できます。

東側にはウルメア川が流れ、スリオラ橋やマリア・クリスティーナ橋など、趣ある橋が川に美しいラインを描きます。その近くにあるスリオラビーチは、サーフィンやボディボードを楽しむ人々でにぎわう活気あるスポットで、街の中心から歩いてすぐの距離にあります。



スリオラクルサール国際会議センター

さらに、ランニングやサイクリングを楽しみたい方には、ペイネ・デル・ビエントからサグエスへと続くパセオ・ヌエボや、街全体に整備された自転車専用レーン「**ビデゴリス**」がおすすめ。芸術と自然に包まれたアクティブな時間を満喫できます。

芸術文化の街

文化に触れたい方は、旧タバコ工場を再生した**「タバカレラ国際現代文化センター」**へ。展覧会、映画上映、ワークショップなど多彩なプログラムが行われ、常に新たな発見に出会える場所となっています。
サン・セバスティアン／ドノスティアで、心に残る特別なひとときをお過ごしください。

ピンチョスの首都



旧市街のピンチョス

美食の街、サン・セバスティアンを味わう第一歩は、旧市街やセントロ、アンティグオ、そしてグロスといった地区のバル巡りから始めるのがおすすめです。

彩り豊かな一口サイズの軽食である**Pintxos(ピンチョス)**と共に、バスク地方で造られるワインの**Txakoli（チャコリ）**、りんごのお酒、**Sidra(シードラ)**、**リオハ・アラベサの赤ワイン**を味わうひとときは、まさにこの街ならではの贅沢な体験です。



また、この地を訪れたら、是非味わってほしいものが、**Gilda(ヒルダ)**と呼ばれるピンチョスです。青唐辛子の酢漬け、オリーブ、アンチョビを串に刺したこの一品は、名映画『ギルダ』にちなんで名付けられた、この地方定番な一品です。

グラス片手にヒルダから始めれば、気分はすっかり地元人。そして、ふと周りを見渡せば、どのバルでも輝くピンチョスとにぎやかな雰囲気に包まれています。

19個の星が輝く街

サン・セバスティアンとその周辺のレストランは、毎年、ミシュランガイドの星を数多く獲得しています。

マルティン・ベラサテギ、フアン・マリ・アルサック、ペドロ・スビハーナ、アンドニ・ルイス・アドゥリスといった名だたるシェフたちが名を連ね、彼らの料理によって、バスクは**世界屈指の美食の地**として知られるようになりました。

しかしこの地で輝く“星”は、格式高いレストランだけのものではありません。街のあちこちにあるバルやシードラの醸造所、アサドール（薪焼きレストラン）一つ一つが、独自の味わいとおもてなしで、人々の記憶に残る“星”を人々にもたらすのです。

おすすめプラン！

星を味わう、至福のひととき

サン・セバスティアンは、人口1人あたりのミシュランの星の獲得数が世界で最も多い都市として知られています。
一流の技を極めたシェフたちは、誰よりもガストロノミーを知り尽くし、その評判は国境を越えて世界へと広がっています。
この選び抜かれた「美食の星空」の中から、ぜひ一軒を選んで味わってみてください。



©San Sebastian Film Festival（サン・セバスティアン国際映画祭）

ドノスティア/サン・セバスティアン
映画の都

SSIFF
Donostia Zinemaldia
Festival de San Sebastián
International Film Festival

サン・セバスティアンは映画の街としても名高く、街の暮らしの隅々に、その片鱗が垣間見えます。

60年にわたり**サン・セバスティアン国際映画祭**が開催され、カトリーヌ・ドヌーヴ、グレン・クローズ、ウディ・アレン等、名だたる映画人がこの街を歩き、映画の空気を共有してきました。

ブールバール通り、ラ・コンチャのビーチ、ロマンティック地区を歩けば、街のあらゆる角が映画のセットのように感じられます。
また、歴史と気品にあふれる**ホテル・マリア・クリスティーナ**、壮麗な**ビクトリア・エウヘニア劇場**、そして**クルサール国際会議場**を散策してみると、映画のワンシーンに入り込んだような感動に満ちた空間があなたを待っています。

映画祭HP：
www.sansebastianfestival.com



ホテル・マリア・クリスティーナ(左)
ビクトリア・エウヘニア劇場(右)



卓越した技術と完璧を追い求める姿勢により、名だたる巨匠たちから高く評価されました。
20世紀で最も影響力のあるこのデザイナーの物語は、ドノスティア、この地から始まりました。

Cristóbal Balenciaga Museoa

クリストバル・バレンシアガ博物館



世界初の単独デザイナー美術館

クリストバル・バレンシアガ美術館(Cristóbal Balenciaga Museoa)は、バレンシアガの生まれ故郷であるゲタリアに位置しています。
9,000平方メートルを超える広大な施設は、彼の生涯と作品を深く掘り下げる場として世界中のファッション愛好家が訪れる場所となっています。
ニューヨークのメトロポリタン美術館や東京のファッション財団、リヨンの織物美術館など、世界の主要な美術館で展示されてきた作品たちは、見るものを魅了し続けています。



この地を愛した芸術家たち

この土地に魅了された芸術家や作家たちも足跡を残しています。

スマイアには、**イグナシオ・スロアガ文化スペース**があります。そこでは彼自身の絵画に加えて、**エル・グレコ**や**ゴヤ**の作品も鑑賞することができます。

また、**パサイ・ドニバネ**には、詩人・作家**ヴィクトル・ユゴーの記念館(Casa Museo Víctor Hugo)**があり、彼がこの地に滞在し、地元の人々について執筆した記録や、当時のスケッチなどを観ることができます。



バンデラ・デ・ラ・コンチャ

おすすめプラン!

スポーツへの情熱と共に
一見の価値ありなスポーツ大会達

サン・セバスティアンは、屋外スポーツへの愛に溢れた街です。

辺りを見渡せば、ランナーやサイクリスト、ローラースケーター、サーファーなど、体を動かす人々の姿をあちこちで見かけることでしょう。そのため、一年を通して多くのスポーツイベントが開催されています。その中には、数多くの国際大会も行われています。

サン・セバスティアン・マラソンやベホビア～サン・セバスティアン間のロードレース、国際ユースサッカー大会「**ドノスティ・カップ**」、そして伝統的な手漕ぎボートのレース「**バンデラ・デ・ラ・コンチャ**」などが挙げられます。

どのイベントも、多くの人々が集い、街全体がひとつになるような活気と感動に包まれています。



ベオビア - サン・セバスティアンレース

エッセンシャル 3



サルブルア湿地

ビトリア＝ガステイス

VITORIA-GASTEIZ

暮らしのために設計された街、その調和を体感してみてください。



ビルヘン・ブランカ広場

“

2012年、**欧州グリーン首都賞**。
2019年、**グローバルグリーンシティ・アワード**。この2つの受賞は、ビトリア＝ガステイスの「グリーンな精神」が国際的にも高く評価されたことを意味しています。

”



サバルガナ

誰もが散策を楽しめる街

バスク州アラバ県の県都である、**ビトリア＝ガステイス**は、快適で住みやすい街として住民から愛されています。
その理由の1つとして、市内の遊歩道や自転車専用レーン(ビデゴリ)、散策道が緑であふれ、きれいに整備されており、誰もが自然とふれあいながら移動できることがあげられます。**グリーンベルト(アニージョ・ベルデ)**と呼ばれるこの道は街全体を囲っており、全長100kmに及びます。

グリーンベルトは、30km以上にわたる遊歩道などが広がっています。アレグリア＝ドゥランツィ、アルメンティア、サルブルア、オラリス、サバルガナなどの公園がつながっています。森や川、さまざまな動植物の姿を楽しめます。街は自然との共生を大切に発展してきました。

中心からほど近い**Los humedales de Salburua(サルブルア湿地)**では、広い敷地内にシカの群れや水鳥が生息し、**アタリア自然解説センター**で観察できます。

これらの自然を見に行くのに車は必要ありません。ビトリア＝ガステイスは、**住民1人当たりの緑地面積がヨーロッパでも有数の都市**であり、歩行者向け都市といえます。ラ・センダ通りやラ・フロリダ、オラリスなどの公園が四季折々の自然を身近に届けてくれます。
いつ訪れても、自然の美しさにあふれた風景を楽しむことができ、ハイキングが好きな方には、街の南側にある**ビトリア山地**がおすすめです。メンディソロッツァやベロステギエタを経由して、サルディアラン山、エロガナ山、アリエタ山の頂上にアクセスできます。北へ進めば、バダイア山地、アラト山地、エルゲア山地を歩くことも可能です。

内陸のビーチを楽しむ

ウジバリ＝ガンボア湖や**ウルナガ湖**では、ランダ、エルピデア、ガライオ、マリエタ、レグティアーノなどの自然豊かなスポットで、日光浴、ウィンドサーフィン、水遊び、凧揚げなどを楽しむことができます。

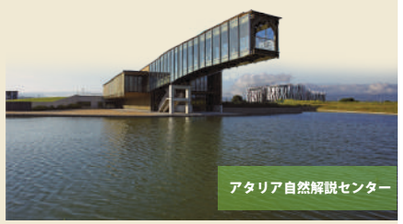


ウジバリ-ガンボ

おすすめプラン！

鳥瞰

ビトリア＝ガステイスの自然資源への真摯な取り組みの一例としておすすめしたいのが、サルブルア湿地内にある**アタリア自然解説センター**です。
ここでは、自然環境ならではの静けさの中で、数多くの野鳥を観察することができます。また、時期は限られますが、熱気球に乗って街を上空から眺める体験も人気です。



アタリア自然解説センター

まだ見ぬ歴史を垣間見る



“ビトリア＝ガステイスにはバスク地方の最も象徴的な旧市街の一つがあります。
一目見れば、中世の雰囲気が漂うこの街の虜になってしまうでしょう。”

サンタ・マリア大聖堂



おすすめプラン！

街のシンボル
サンタ・マリア大聖堂

緑豊かなビトリア＝ガステイスの中に広がる楕円形の旧市街、それがAlmendra　Medieval(アルメンドラ・メディエバル)です。アーモンドの形をしていることから名づけられたこの地区は、1000年頃に「ガステイス」と呼ばれていた丘に築かれた、ビトリア＝ガステイスの中でも最古のエリアです。

Catedral de Santa María(サンタ・マリア大聖堂)は現地の人もおすすめする名所です。修復作業が現在も続いていますが、工事中も歴史の一部と捉え、一般公開されています。
ゴシック様式の大聖堂は、作家ケン・フォレット等にもインスピレーションを与え、彼らの作品にも登場しています。
これまでに100万人以上の来訪者が訪れた名所を是非お楽しみください。

大聖堂HP：
www.catedralvitoria.eus



スペイン広場

中世への
タイムスリップ体験

サンタ・マリア大聖堂のある旧市街は中世の街並みが広がっています。**中世の城壁**や**ビバット(フォルニエ・トランプ博物館**と**考古学博物館**が一体化した施設)、**エスコリアンサ＝エスキベル宮殿**などの名所の多くを、エスカレーターなどで快適に巡られるよう、街並みが設計されています。
また通りの名前にも注目してください。**クチジェリーア**(刃物職人通り)や**エレリーア**(鍛冶屋通り)、**コレリーア**(皮職人通り)など、かつてのギルドの活動を伝えています。
巨大な壁画もまた、見所の一つです。前衛的なヨーロッパ美術の中でも評価が高く、ひとつの流派を築いています。壁画で人気のこのエリアには、**ベンダーニャ宮殿**や**旧郵便宿のポルタロン**、にぎやかな**ブルジェリーア広場**や**マチェテ広場**もあります。
また、**ドニャ・オチャンダの塔**には自然科学博物館があり、地質学、植物学、動物学の優れたコレクションで知られています。



中世の城壁



エンサンチェ展望台



アルティウム・ムセオア

エルサンチェ地区
～中世から近代へ～

Ensanche(エンサンチェ地区)では、優雅な展望窓が並ぶ街並みの中で、もう一つの注目スポット、**バスク現代美術館**を楽しむことができます。

この美術館は現代アートの収集・制作・発信・研究を行っており、常設展にはミケル・バルセロ、ピカソ、タピエス、ダリ、など名だたる作家たちの作品が揃っています。



この街で、もう一つ見逃せないもの、それがスイーツです。伝統を誇る菓子はアラバ県の代表的な特産品です。
特におすすめしたいものは、地元の定番であるゴシュアや、ガステイス・タルト、チュチュイトス、チョコレートトリュフ、そしてバスキートス、ネスキートスです。

スタッフへの適正な処遇の促進

ビトリア＝ガステイスから訪れる塩の谷

El Valle SALADO

2013年ユネスコ世界遺産推薦地

2019年ヨーロッパ産業遺産の道(ERIH)より、産業観光遺産として最も重要な土地にのみ送られる「アンカーポイント」の称号を授与される。

サリナス・デ・アニャーナの塩の谷(Valle Salado de Salinas de Añana)は、日帰りにも最適な観光地です。

塩分を含んだ湧き水を利用し、石、粘土、木材を使った手作りの段々畑のように、5,000以上もの区画で塩田が作られています。

総面積12万平方メートル以上にも広がる塩田の間を通る小道を歩きながら、塩水を運ぶ何百もの木製の水路を見ることができます。



おすすめプラン!

バスク塩の秘密

7,000年以上の歴史を持つ、**アニャーナの塩の谷**。ここでは、ガイド付きツアーを通じて、この谷のユニークさ、そしてバスク料理のシェフが愛用する「アニャーナの塩」の秘密を探ることができます。塩水を実際に味見したり、塩水の足湯を体験したり、多彩なグルメ塩のテイスティングも楽しむことができます。

アニャーナ塩の谷HP：
www.vallesalado.com





歴史のロマンがここに

アラバ県（Araba/Álava）は先史時代からの豊かな歴史遺産が数多く残っています。この土地を訪れる人は、当時の人々が残した巨石遺跡（ドルメン）に心奪われること間違いありません。中でもエギラスの「**アイスコメンディのドルメン**」、アリサラの「**ソルギネチェのドルメン**」、エルビジャールの「**魔女の小屋（ラ・チャボラ・デ・ラ・エチセラ）**」は必見です。

また、**アライツァやガセオの教会壁画、サルバティエラ＝アグラインの歴史的街並み、メンドーサやバローナの塔**なども見どころです。中世のものだと、アヤラ家の宮殿や修道院が残る**ケハナの歴史建造物群**や、城壁に囲まれた**ラブラサ、サリニージャス・デ・ブラドン、ラグアルディアの美しい街並み**が特に魅力的です。





地方開発の促進

RIOJA ALAVESA

葡萄畑に彩られた風景

ラグアルディアとシエラ・デ・トローニョ

上の風景は、**Rioja Alavesa(リオハ・アラベサ)**独自の魅力を伝える、ほんの序章に過ぎません。**エブロ川とトローニョ山脈**の間に広がる一面のぶどう畑は、季節ごとにその表情を変え、見る人を魅了します。この地域の「ぶどう畑とワインの文化的景観」は、ユネスコ世界遺産候補に選ばれ、益々注目を集める場所となっています。

美しい村々、野鳥観察のための湿地帯、歴史を物語るドルメン（巨石遺跡）や城壁に囲まれた街など、独自の文化的な景観を作っています。伝統と革新のバランスの美しさが、この地域ならではの魅力です。

広大なぶどう畑の間に点在するワイナリーは、一見の価値のあるものばかり。リオハ・アラベサは、特産品のワインや近年注目のオリーブオイルに興味がなくても、楽しめる観光地なのです。**Euskadi(エウスカディ，バスク語でバスク地方を指す)**でも特に個性的な地域で、独特の雰囲気と地元の人々の温かさが訪れる人をお待ちしています。



ラグアルディア湖

おすすめプラン！

リオハ・アラベサの香りと風景

La Ruta del Vino de Rioja Alaves (リオハ・アラベサ　ワインルート)では、ワイン好きのための特別な体験が待っています。中世の村々をガイド付きで訪れ、息をのむようなぶどう畑の絶景を楽しみながら、ワイン造りの秘訣を学べます。
また、評判の高い原産地呼称（D.O.Ca.）ワインを実際に試飲し、ワイナリーや地元のレストラン・宿泊施設で、その奥深い味わいや香りを堪能することができます。

リオハ・アラベサ・ワインルートHP：
www.rutadelvinoderiojaalavesa.com





ラグアルディア

リオハ・アラベサのワイナリー
伝統と革新

Rioja Alavesa(リオハ・アラベサ)では、人々がワイン文化に対して抱いてきた深い情熱と共に、ワイナリー（ボデガ）のあり方も大きく変化してきました。その起源は中世に遡り、村々の地下には「**カラード**」と呼ばれる伝統的な地下貯蔵庫が作られ、ワインの熟成や保存が行われてきました。
現在のワイナリーは、伝統を守りながらも、国際的に名高い建築家たちが手掛ける現代的な施設へと進化していきました。
特に注目すべき現代建築の代表例には、フランク・ゲーリー設計の**マルケス・デ・リスカル**（**Marqués de Riscal**）、サンティアゴ・カラトラバによる**イシオス**（**Ysios**）、フィリップ・マジエールが手掛けた**クネ**（**CVNE**）、イニャキ・アスピアスによる**バイゴーリ**（**Baigorri**）、マリノ・パスクアル設計の**アンティオン**（**Antión**）などがあります。

その一方で、伝統的なスタイルを保ちながら、優雅で気品ある素材を活かしたクラシックなワイナリーも存在します。

リオハ・アラベサの人々の生活は、こうしたワイン文化と密接に結びつき、いたるところでワインの存在を感じることができます。多くのワイナリーでは見学ツアーを実施しており、訪問者はワイン製造工程やブドウ果汁の選定法を学び、発酵用の大樽や熟成用の樽を見たり、試飲・購入を楽しんだりできます。その内部には常に特別な静謐さが漂っています。

“クラシックでありながら新しい。
アラバ県には、受け継がれてきた
知恵と最新技術が共存しています。
ワイン造りを情熱としてきた人々の
熟練の技がここに。”



エルシエゴのホテル・マルケス・デ・リスカル

おすすめプラン！

美容と健康のワイン

リオハ・アラベサでのワインの楽しみは、味わうだけではありません。

El Hotel Villa de Laguardia（**ビジャ・デ・ラグアルディアホテル**）では、「原産地呼称付き」の天然成分を使った、心と体のケアのためのトリートメントが提供されています。スパでは、ワインの美容効果を活かした施術など、ここだけでしか味わえない魅力的な体験が待っています。





エッセンシャル 10

リオハ・アラベサ
城壁開放の歴史



サンタ・マリア・デ・ロス・レイエス教会

Laguardia(ラグアルディア)は、リオハ・アラベサの中心にある歴史情緒残る町です。13世紀に築かれた城壁と塔に囲まれ、今も観光を軸にしたにぎやかな生活が息づいています。

もし機会があれば、ガイド付きで**Iglesia de Santa María de los Reyes(サンタ・マリア・デ・ロス・レイエス教会)**を訪れてみてください。見事な彫刻が施されたポルティコやアバシアル塔は、保存状態も良く一見の価値ありです。



ラグアルディア

ラグアルディアを散策する際は、市庁舎にお立ち寄りください。マヨール広場に面した時計台は、定時になると自動人形が出て、伝統音楽に合わせて踊ります。

また、寓話作家として有名なフェリックス・マリア・サマニェゴの故郷でもあるこの町。彼の生家はサン・フアン小広場にある17世紀建築の屋敷です。

町の南側には、要塞のような教会として知られる**Iglesia de San Juan(サン・フアン教会)**があり、14世紀末に建てられた**Casa de la Primicia(カサ・デ・ラ・プリミシア)**も人気の観光地。
その他にも、ラ・バルバカナにある古代の貯水池跡も、オススメのスポットです。また、コジャドの遊歩道は絶景を楽しむにはうってつけです。



エル・ビラル

リオハ・アラベサの町には、それぞれに驚くほど多くの歴史が息づいています。

中でも注目なのは「**ドルメン・ルート**」。短い距離の中に8つの巨石墓（ドルメン）が点在し、エル・モンテシージョやラ・チャボラ・デ・ラ・エチセラなど、見応えのある史跡が揃っています。案内板や説明パネルも充実しているので、観光にはもってこいの場所です。また、多くの町には、岩をくり抜いて造られた古代のワイン圧搾場(ラガール)も残されており、ワイン文化の長い歴史を実感できます。

ラバスティーダ近くには、鉄器時代の集落跡「カストロス・デ・ブラドン」が、ラグアルディアのそばには3000年前の暮らしを伝える博物館つき遺跡「ラ・オジャ」があります。そこでは、先住民たちの壮絶な最期が語られています。

また、中世の城壁が数多く残り、例えば、ラブラサは保存状態が非常に良好で、世界的な賞も受けています。人口わずか100人の村ですが、まるでタイムスリップしたかのような景色が広がっています。

西の端にあるサリニージャス・デ・ブラドンには、伯爵の宮殿が今も残り、塩水が湧く泉には多くの観光客が訪れています。

歴史と自然に包まれたこの地で、きっと忘れられない体験が待っています。



ラ・ブラサ

遺産保全への貢献

海に育まれたバスク文化

サン・ファン・デ・ガステルガチェ

人々とカンタブリア海の関係は切っても切れない強い繋がりを持っています。それは、経済的なものだけに留まらず、美しい景観や海の幸など、文化の根底に深く根付いたものです。古代の捕鯨文化から始まり、そこから漁業が主要な生業となっていったことが理由の1つと言えます。

男性は海へ出て魚を獲り、女性は網の修繕や市場での販売を担いました。こういったバスク文化の原風景は今でも伝統として大切にされ、多くの港で見ることができます。
また、漁師たちは自分たちの権利と利益を守るためCofradíasと呼ばれる漁師組合を結成し、今でもこの仕組みは受け継がれています。

海への深い信仰心

災いからの加護を願う信仰は、特に海辺の町に残っています。「**カルメネス祭**」や「**マダレナス祭**」、「**サン・ペドロス祭**」といった守護聖人を讃えるお祭りが今でも各地で開催されているのが、その表れと言えるでしょう。
祝祭だけではなく、オンダリビアの**グアダルーペ聖母の聖堂**、ムンダカの**サンタ・カタリナ教会**、スマイアの**サン・テルモ教会**などの施設が海辺に建てられているのも人々の信仰の表れと言えます。

San Juan de Gaztelugatxe
(サン・フアン・デ・ガステルガチェ)

特に**ベルメオ**近くにある、**la ermita de San Juan de Gaztelugatxe(サン・フアン・デ・ガステルガチェの礼拝堂)**は特におすすめです。ドラマ「ゲーム・オブ・スローンズ」の撮影地として一躍有名となったここは、険しい岩山の上に建つ礼拝堂へ行くのに、231段の階段を登る必要があります。頂上にある13回鐘を鳴らすことで悪霊を追い払えるという言い伝えがあるので、是非お試しください。
また、訪れるには事前予約が必要なのでご注意を。



ゲタリア


ガステルガチェの石段


ベルメオのマダレナス

バスクビーチ


サラウツ



ソペラ

バスクの海岸線には、美しく魅力的な約50のビーチが点在しています。リラックス目的から、アクティブレジャー目的まで、誰でも満喫できるのが特徴です。

家族連れに人気なのは、**La Concha(ラ・コンチャ)**、**Astondo(アストンド)**、**Isuntza(イスンツァ)**といった都市型ビーチです。

一方、サーファーや若者が集う活気あるビーチには、**Zurriola(スリオラ)**や**Gorliz(ゴルリス)**、**Plentzia(プレンツィア)**があります。

サーフィンやカヤックに最適なのは、**Zarautz(サラウツ)**、**Bakio(バキオ)**、**Arriatera(アリアテラ)**、**Antilla(アンティージャ)**、ゲチョとソペラの間にある**Barinatxe(バリナチェ、通称ラ・サルバヘ)**など。いずれも波がよく、人気のスポットです。
広くて設備が充実しているビーチとしては、**Hondarribia(オンダリビア)**、**Karraspio(カラスピ)**、**Arrigunaga(アリグナガ)**と**Ereaga(エレアガ)**などが安心して楽しめます。

また、美しい自然に囲まれているのが、ウルダイバイ生物圏内にある**イバランジェルのLaida(ライダ)**。

地形の面白さと神秘的な雰囲気で知られるのが、スマイアの**Itzurun(イツルン)**です。

バリアフリー対応のビーチも充実しています。ビスカヤでは**Ereaga(エレアガ)**、**Arrigunaga(アリグナガ)**、ギプスコアでは**La Concha(ラ・コンチャ)**、**Zarautz(サラウツ)**、**Ondarbeltx(オンダルベルツ)**などが整備されています。

ヌーディスト向けのビーチもあり、**Barrika(バリカ)**、**Lapatxa(ラパチャ)**、**Ulía(ウリア)**、**Zurriola(スリオラ)**、**Zarautz(サラウツ)**、などが知られています。

おすすめプラン！

波に身を任せる

SURFING EUSKADI BASQUE COUNTRY

50以上のサーフスポットと、充実したスクールや宿泊施設が揃うバスク海岸は、ヨーロッパ有数のサーフィンの聖地として知られています。「**Surfing Euskadi**」によって、サン・セバスティアンからゲチョ、サラウツやムンダカまで、誰でも気軽に楽しめます。波に挑戦するのは、バスクの旅にぴったりの体験です。

www.surfingeuskadi.



ムンダカ

海と文化

バスクの人々と海との深い結びつきを知るには、海洋文化の博物館を巡るのがおすすめです。

まずは、サン・セバスティアンの**Aquarium(水族館)**。海洋研究の先駆け的存在で、奥深い海の世界を楽しく学ぶことができます。また、**Museo Marítimo Vasco(バスク海事博物館)**もあり、興味深いテーマの企画展示が行われています。

イルンにある**Museo Oiasso(オイアッソ博物館)**では、古代ローマ時代の港「オイアッソ」にちなんだ、古代の海と人の関係が紹介されています。

さらにパサイアには、伝統的な船を再現している**Albaola Itsas Kultur Faktoria(アルバオラ・イツァス・クルトゥール・ファクトリア)**があります。ここでは、舟艇のコレクションを間近で見ることができます。

ビスカヤ県のベルメオにある**Museo del Pescador(漁師博物館)**も漁師の生活と文化を学ぶのに、かかせない施設です。プラセンティア・ブトロン博物館では、港町と海の歴史が語られています。

また、ビルバオの**Itsasmuseum(イツァスムセウム)**は、かつての造船所跡地を活用した海洋博物館で、ポルトゥガレテの**Rialia Museum(リアリア産業博物館)**では、ビスカヤの鉄鋼と鉱業の展示が行われており、海と産業のつながりも見ることができます。




サンタ・カタリーナ灯台

灯台：海を見守る番人

バスクには個性あふれる灯台が多くあります。例えば、ベルメオ近くの**Cabo de Matxitako(マチチャコ岬)**の灯台は100年以上の歴史を持ち、パサイアの**El Faro de La Plata(ラ・プラタ灯台)**はお城のような塔が印象的です。

El Faro de Gorliz(ゴルリス灯台)は、バスク沿岸で最も高い場所に建つことで知られ、ゲタリアの灯台はサン・アントン山の頂上にそびえています。なかでも唯一内部見学が可能なのが、**El Faro de Santa Catalina(サンタ・カタリナ灯台)**。ここでは、航海技術や海に関する知識を体験的に学べる展示が用意されています。

ファン・セバスティアン・エルカノ

世界で初めて地球一周をした人物がバスク人の船乗り、ファン・セバスティアン・エルカノなのを知っていますか？

500年以上前に達成されたこの偉業は、バスクの海洋精神を象徴する歴史的な出来事です。彼の故郷であるゲタリアでは、4年に一度、上陸の再現劇が行われ、地元の誇りとして大切に受け継がれています。



バスク文化を楽しむ

バスクの丘陵と渓谷
農村世界の魅力

田園地帯に足をのばすと、バスク人の文化や伝統が今なお変わらず息づいていることを実感できるでしょう。地元の食を味わい、文化や言語に触れ、年間を通じて各地で行われる市場や伝統行事を楽しむことができます。「本物のバスク」がここには残っています。

そして、バスクの田舎で行われている暮らしをより深く知りたいなら、伝統的なバスク農家「カセリオ」に滞在するのがおすすめ。自然とふれあいながら、日々の営みに参加することで、より濃密な体験ができます。たとえば、チーズづくり、シードラの醸造、はちみつやジャムの製造、牛の乳搾りなどです。五感を刺激する、リアルな体験が待っています。

おすすめプラン！ 一日羊飼い体験

Abadiño(アバディーニョ)にあるアチャルテチーズ工房では、羊飼いのパチ・ソラナさんともに一日を過ごし、羊の乳搾りや毛刈り、チーズや石けん作りなどを体験することができます。そして、原産地呼称付きの**Idiazabal(イディアサバルチーズ)**を味わいながら、その香りや風味に隠された秘密を知ることができます。



ここにしかない伝統

バスクを訪れたことがない方にとって、最初に驚くかもしれないのが**aurresku(アウレスク)**と呼ばれる踊りです。多くのお祭りの冒頭で披露されるこのダンスは、歓迎と敬意を表す伝統舞踊のひとつです。その他にも、剣舞として知られる**Ezpata-dantza(エスペタダンツァ)**も有名です。ダンスの他にも、神話や伝説、民俗芸能、歴史、そして独自の言語**Euskera(エウスケラ、バスク語の意)**などが、バスクに住む人々の唯一無二の暮らしに根づいています。

音楽の世界では、**Alboka(アルボカ)**やチストゥ、トリキティシャ、ドゥルサイナといった伝統楽器が奏でる独特の音色が印象的です。

神話では、火を操る女性「マリ」、川辺に現れる水の精「ラミアク」、森の巨人「バサハウン」、超人「ヘンティジャック」、魔女「ソルギニャク」などのキャラクターが語り継がれ、民話や芸術に登場します。

伝統スポーツもバスク文化の重要な一面です。ペロタ（バスクの球技）の競技場では、素手、ラケット、籠などを使ったさまざまな種目が人気です。さらに、**Aizkolaris(アイスコラリス、丸田切り)**、石持ち上げ、綱引き、草刈り、牛の力を使った重量引きなど、農村の力仕事を競技化した「ヘリ・キロラック」は今も各地で開催されています。

海の文化では、カラフルな応援が盛り上げる伝統的なボートレース「トレイニェラのレガッタ」もぜひ見逃さないでください。



アイスコラリス



アルボカ



エスペタダンツァ

CASA DE JUNTAS DE

GERNIKA

歴史と出会う場所
ゲルニカ議事堂



ゲルニカ議事堂

ゲルニカ＝ルモ

バスクの文化や遺産、そして人々の誇り高いアイデンティティは、長い歴史の中で育まれてきたものです。
この地の特徴のひとつが、今なお起源不明の言語「**エウスケラ(バスク語)**」の存在です。バスク地方には、バスコン人と呼ばれる古代の人々が暮らし、長く独自の文化を築いてきました。

中世にはナバーラ王国の一部でしたが、16世紀にカスティーリャ王国の支配下に入りました。現在は、かつての歴史を受け継ぎ、「バスク自治州」として独自の文化や制度を維持しています。そして、隣接するナバーラ州とも深い文化的繋がりをもっています。

バスクの象徴と呼ばれる**Gernika-Lumo(ゲルニカ＝ルモ)**。ここには、伝説的な「ゲルニカの木」の隣に、ビスカヤ領の議会である**Casa de Juntas(カサ・デ・フンタス)**の本部があります。
今日でもこの地は、バスク自治政府のレンダカリ（首相）の就任式など、重要な儀式の舞台となっています。この建物はビスカヤ県における最高機関の本部であり、中心にはビスカヤ県議会の本会議が開催される「会議の間」が設けられています。





ケハナ

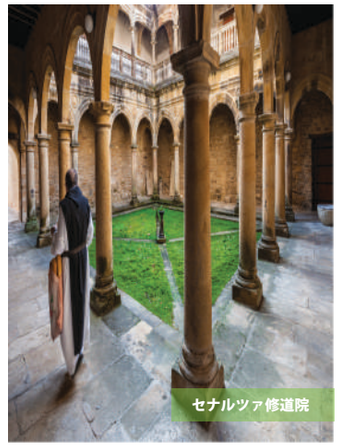
「バスク」の始まり

バスクの起源を知るために、まずはエカインやサンティマミニェの旧石器時代の洞窟から旅を始めましょう。
バスク海岸ジオパークでは、何百万年もの地層が折り重なる「フリッシュ」も見られますし、各地に点在する古代の遺跡―アイアコ・アリア山やモンテ・アダラ、アララル山地、リオハ・アラベサ、バルデゴビアのドルメンやクロムレック―も歴史を感じさせてくれます。

アラバ県では、中世にナバーラ王国を守った城壁都市や、アジャラ渓谷に残る防御塔、貴族の邸宅、歴史ある町並みに出会えます。
ビトリア＝ガスティスでは修復中のサンタ・マリア大聖堂の内部が見学可能。ラグアルディアでは、美しい彩色装飾が残るサンタ・マリア・デ・ロス・レイェス教会も見逃せません。

ビスカヤでは、まずビルバオの考古学博物館で全体像を把握した後、歴史的な街オルドゥーニャ、ゲルニカ＝ルモの議会施設、産業遺産として知られるネルビオン川沿いの鉱石積出施設や博物館を巡ると、バスクの産業と政治の歴史が見えてきます。
さらに、セナルッツァ修道院やサン・ミゲル礼拝堂、バルマセダやドゥランゴ、エロリオといった歴史ある町の散策もおすすめです。

ギプスコアでは、ローマ時代の鉱山跡や港、そしてロイオラの聖地、芸術的なアランサス聖堂など、時代と信仰を超えた建築に出会えます。オニャティの大学も、その歴史と格式で訪れる人を魅了します。



セナルツァ修道院



オニャティ大学

エッセンシャル 7

バスクのエコツーリズムの魅力

環境保全への貢献



ウルダイバ



ウルダイバイ URDAIBAI

ユネスコに登録されている**ウルダイバイ生物圏保護区**(ビスカヤ県)は、豊かな自然と多様な生態系に恵まれたエリアです。世界中のサーファーに人気の「レフトブレイク（左巻きの波）」で知られるムンダカの河口一帯に広がっています。

この保護区の魅力を知るには、案内拠点**Ekoetxea Urdaibai(エコエチェア・ウルダイバイ)**への訪問がおすすめ。体験型プログラムを通じて、魅力を発見することができます。

また、**Urdaibai Bird Center(ウルダイバイ・バードセンター)**では、この地域を訪れる200種以上の渡り鳥の観察が可能です。研究施設でありながら、来館者が楽しめる工夫が随所に施されています。



バードウォッチング

周辺にはビーチもあり、中でも約1kmにわたる細かい金色の砂が広がる**La Playa de Laida(ライダ・ビーチ)**は、家族での滞在にぴったりのスポットです。オゴーニョ岬のふもとの**La Playa de Laga(ラガ・ビーチ)**も、バスク地方で屈指の美しさを誇ります。

さらに、地域内の整備されたハイキングコースには、野生動物の保護とリハビリを行う施設「バソンド」もあり、家族で訪れるのに最適なスポットとなっています。

おすすめプラン！

ウルダイバイ河口を巡るクルージング

バスク地方で最も美しい景観のひとつ、ウルダイバイの河口をゆったりと航行してみませんか。停泊中には、地元の美味しいタパスを味わいながら、バスク伝統音楽の生演奏を楽しむことができます。



ウルダイバイHP：
www.urdaibaion.com

Geoparque de la Costa Vasca
バスク海岸ジオパーク



バスク地方を旅する中で、欠かすことができない海岸ルートが**Flysch(フリッシュ)**を巡るものです。
何層にも重なった岩石の地層は、まるで地球の年表のように、数千万年の歴史の途方もない厚さを示しています。こうした地層が集まったこの一帯は「バスク海岸ジオパーク」としてユネスコにも認められており、世界中の地質学者から注目を集めています。

この場所へは、**Zumaia(スマイア)、Deba(デバ)、Mutriku(ムトリク)**からアクセス可能です。
観察方法もさまざまで、クルージング、トレッキング、乗馬体験、またはスマイアの自然資源解説センターであるAlgorri(アルゴッリ)を訪れることで、このバスク海岸の地質構造への理解を深めることができます。

他にも注目すべき地質スポットとして**Gorliz(ゴルリス)**の化石化した砂丘や、Getxo(ゲチョ)のプンタ・ガレアからSopela(ソペラ)、Barrika(バリカ)、Plentzia(プレンツィア)、Gorliz(ゴルリス)を通ってAlmintza(アルミンツァ)に至る断崖線があります。

> バスク海岸ジオパークは、
> 2010年にユネスコにより
> ヨーロッパジオパークネットワークに認定されました。

UNESCO

Geoparks



おすすめプラン!

ジオパークを巡る6つのハイキングルート

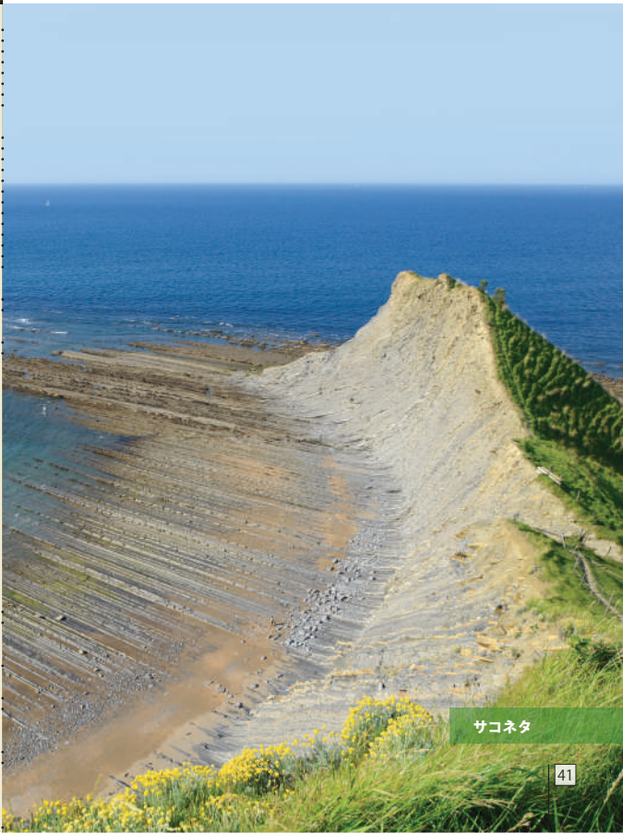
バスク海岸ジオパークには、自然や風景、歴史を楽しみながらハイキングを楽しむコースが6つも存在します。
Algorri(アルゴリ)、Elorriaga(エロリアガ)、Saloneta(サコネタ)、Lapari(ラパリ)、Olatz(オラッツ)、Talaia(タライア)の6つのルートはどれもこの地の魅力を秘めた素晴らしいルートです。

おすすめプラン!

Flysch (フリッシュ)

Mutriku(ムトリク)と**Deba(デバ)**から**Zumaia(スマイア)**まで続くのは、堂々たる断崖絶壁。その壮大さは、海上から眺めるとさらに際立ちます。この大地の進化を物語る見事な地層景観こそが、**Flysch(フリッシュ)**です。まるで本のページのような秘められた地球の歴史を示す地質構造です。
この圧巻の海岸を間近に感じられる魅力的なクルージングが用意されています。その特異な自然の姿から、この地はユネスコによりジオパークの自然遺産として認定されています。

ジオパークHP：
www.geoparkea.eus



サコネタ

自然公園


アイスコリ・アラッツ
2


ゴルベイアの十字架
1

バスク地方には、文化と歴史、そして自然が融合した、数多くの自然公園が存在します。

ビトリア＝ガステイス近郊には、バスク登山の象徴として知られる**Parque Natural de Gorbeiaゴルベイア自然公園(1)**があります。ゴイウリの滝や、山頂に立つゴルベイアの十字架といった歴史的シンボルを楽しむことができます。

Parque Natural de Aizkorri-Aratzアイスコリ＝アラッツ自然公園(2)は、ギプスコア県の中心に位置し、県内最大規模の全長14kmを誇るアリクルツ洞窟も見学可能です。

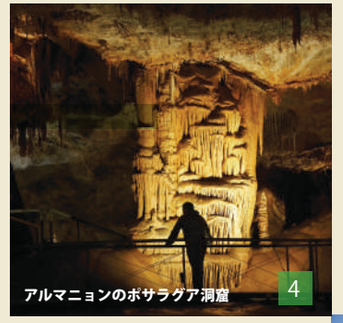
Parque Natural de Aralarアララール自然公園(3)では先史時代の巨石遺


アララール
3

跡を見ることができ、**Parque Natural de Armañónアルマニョン自然公園(4)**では、幻想的な形をした鍾乳石で有名なポサラグア洞窟などが待っています。

ビスカヤ県とアラバ県にまたがる**Parque Natural de Urkiolaウルキオラ自然公園(5)**は、8～11世紀を起源とし、巡礼地として機能するウルキオラ聖地があります。聖堂入口にある石は縁結びの伝説でも有名です。
Parque Natural de Valderejoヴァルデ


ウルキオラ
5


アルマニョンのポサラグア洞窟
4


ヴァルデレホ
6

レホ自然公園(6)では、広い谷が90度に切り立つ石灰岩の崖に囲まれ、その中をブロン川の峡谷が蛇行して流れています。特に峡谷部は見事な断崖絶壁が続きます。


イスキ
7

もし静けさに包まれたいなら、**Parque Natural de Izkiイスキ自然公園(7)**がおすすめです。城壁に囲まれたペニャセラダの町にもぜひ立ち寄ってみてください。


アイアコ・アリア
8

ピレネー山脈の麓にある**Parque Natural de Aiako Harriaアイアコ・アリア自然公園(8)**は、風景美に富んだ三つの主要な山頂「三つの王冠」で知られています。
また、ギプスコア県では、豊かなイトゥルラン植物園を擁する**Parque Natural de Pagoetaパゴエタ自然公園(9)**でも散策が楽しめます。


パゴエタ
9

各自然公園が整備しているルートマップをチェックして、ぴったりのコースを探してみましょう。





イグナシオの道

www.caminoignaciano.org

バスクに生まれ、のちにイエズス会の創設者の一人となる聖イグナシオ・デ・ロイオラの巡礼道は現在、イグナシオの道(カミノ・イグナシアーノ)と呼ばれ、徒歩で7つのスポットを巡れるようになっています。
この道は、ギプスコアからアラバ県に入り、リャナダ地方、モンターニャ・アラベサ、リオハ・アラベサを通ってナバーラへと続きます。
特におすすめなのは、アスペイティアにある、サン・イグナシオの生家を中心に建てられた壮大な**Santuario de Loiola(ロイオラ聖堂)**、**Ermita de La Antigua(ラ・アンティグア礼拝堂)**、**Santuario de Arantzazu(アランサス聖堂)**の3か所です。
アランサスは、バスクの著名な芸術家たちの作品が集まる場所でもあり、オテイサによるファサード、チリーダの扉、バステレチェアの壁画などが見られます。また、バスク語の普及と教育の拠点としても重要な役割を果たしています。

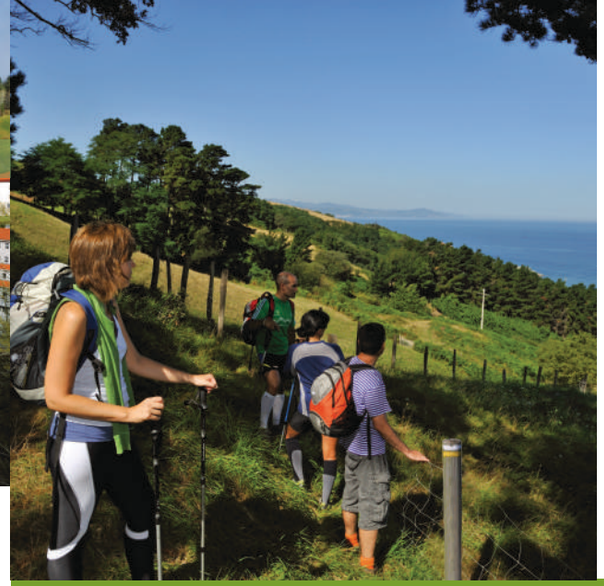
2 本の巡礼ルート バスク〜サンティアゴ

境から、さまざまな色、形、空間を持つ地域を探検することができます。かつてローマ時代には、ヨーロッパの主要道路としても利用されていました。



沿岸ルートは、北ルートとも呼ばれ、北欧諸国からの巡礼者が利用した最も古いルートの一つです。オンダリビアからデバまで、カンタブリア海を見下ろせる道をたどり、漁村の活気に満ちた雰囲気と、農家（カセリオ）の穏やかな風景を楽しむことができます。マルキナ＝シェマインから先は、レア＝アルティバイやブストゥリアルデアといったのどかな地方を経て、カンタブリア州境の静かなエンカルタシオネス地域へと続きます。
一方、内陸ルートはフランスルートと合流し、ギプスコアとアラバの県





自然の中でトレッキングやサイクリングをすることで、いつもと違った視点でバスクを楽しめるでしょう。緑豊かな山々や美しい海岸には、整備された観光ルートが数多く用意されています。自転車での観光をしたい人には、各地にあるBTTセンターでコース情報を確認すると便利です。

また、鉄道の廃線跡を再整備した「ビア・ベルデ（緑の道）」もおすすめです。普段は立ち入れないような自然の中を歩いたり走ったりできる特別なルートです。
選べるルートには、バスコ＝ナバーロ鉄道ルート、ビダソア川沿い、モンテス・デ・イエロ（鉱山跡地）、アチュリ、ウロラ渓谷、プラサオラ＝レイツァラン、アルディトゥリ、イツァスルル、ムティロア＝オルマイステギなどがあります。

トレッキング か サイクリング か







持続可能な製品・
サービスを選ぶ

La Gastronomía y el Enoturismo

“ガストロノミーとエノツーリズムは、バスクを深く味わう鍵。

一皿の料理と一杯のワインから、この土地の歴史と人々の営みが見えてくる。”

バスクのアイデンティティを体験

エウスカディ・ガストロノミカ

EUSKADI
BASQUE COUNTRY
Gastronomika

Euskadi Gastronomikaは、バスクの素晴らしい食文化と質の高いサービスで、最高の体験を満喫してもらうことを目的としたネットワークです。ミュージアム、体験型企業、ワイナリー、チーズ工房などが参加し、グルメツアーや体験プランに加え、食事や買い物が楽しめる多様なスペースを提供しています。

Euskadi Gastronomikaは、あなたの期待を超える美食の旅を計画するための、充実した情報と選択肢を提供します。

以下のURLからHPをチェック！！
ww.euskadigastronomika.eus

美食の星降る街



バスク料理界の偉大な人物たちは、たゆまぬ努力で、バスク料理の名声と評価を高めてきました。
スペイン版ミシュランガイドとの呼び声も高い、レプソルガイドで高評価を得たレストランが71軒、世界の優れたレストランを紹介「50 Best」リストへの掲載、そして合計33個のミシュラン星*が、その実力を物語っています。

*2024年7月調べ

街の中には、Erretegiak(エレテギアク)と呼ばれる炭火焼専門店があり、新鮮な魚や肉を使ったグリル料理が楽しめます。
Sagardotegiak(サガルドテギアク)と呼ばれるシードラ(リンゴ酒)の醸造所では、クペラ(木樽)に囲まれた場所で炭火焼料理を楽しむという、ユニークな体験ができます。

また、リオハ・アラベサ地方のワイナリーでも、一味違った美味しいランチを堪能できます。



ナノ・ガストロノミー

ピンチョス
PINTXOS



バルを巡りながら、ピンチョスを少しずつ楽しむというスタイルは、バスクで生まれました。バーカウンターに並ぶ魅惑的なピンチョスを前にすれば、誰もが誘惑に抗うことはできないでしょう。
最初は、ワインに合うようにと作られた、ヒルダ(オリーブの実と青唐辛子の酢漬け、アンチョビの串料理)、バンデリージャス(串刺しピクルス)、ペレス(ゆで卵)などが始まりでした。しかし、そこに「**ピンチョス**」という新しい文化が生まれたのです。

今では料理人たちが丹精込めて仕上げる繊細な芸術品となり、まさに"ナノガストロノミー"という洗練された美食の科学へと発展しました。

サン・セバスティアンの旧市街、ビルバオのカスコ・ビエホ、ビトリア＝ガステイスのエンサンチェ地区など、どこに行ってもきっと目を奪われ、思わず手が伸びてしまうはず。ピンチョスの世界は、数えきれない美味しさであふれています。

おすすめプラン!

チキテオ
Txikiteo

バスクの美食文化を満喫するなら、**Rioja Alavesa(リオハ・アラベサ)**のワインや**Txakoli(チャコリ)**を片手に「ピンチョス巡り」に出かけてみてください。
味も見た目もこだわってつくられたピンチョスの数々は、どれを選んでも大当たり。賑やかでフレンドリーなバルの中で、是非、ミニガストロノミー体験をしてみてください。
味の記憶に刻まれること間違いない逸品が、皆様をお待ちしております。





市場
新鮮で魅力的な食材の宝庫

オルディシア市場

生産者と消費者が直接ふれあう貴重な場が市場です。バスクには山や海から魅力的な特産品の数々が市場に届けられます。

サン・セバスティアンでは、**ブレチャ、エル・アンティグオ、サン・マルティン**の市場が代表的です。また、毎週水曜日に開催されるオルディシア市場で販売された価格が、バスク全域の農産物の基準価格になることで知られています。

ビルバオにある**リベラ市場**は、ヨーロッパで最大の屋内市場です。ゲルニカ＝ルモの市場は、年間を通じて週の最初の日に開催され、特に10月の第一・最終月曜日は大勢の人で賑わいます。また、オロスコの市場も毎週土曜日に開かれます。

ビトリア＝ガステイスでは、**アバストス広場**の周辺で、毎週木曜日と土曜日に地元生産者が色とりどりの商品を並べます。

季節の市

季節ごとに特別な市場が開催されるのも魅力の一つ。バスクの三大都市で開かれるサント・トマス市をはじめ、サルバティエラ＝アグラインでは家畜市、バルデゴビアではジャガイモを祝う市が開かれます。さらに、ゲルニカのピーマン祭、リオハ・アラベサのぶどう収穫祭なども見逃せません。



ゲルニカ・ルモ市場

料理という学問

バスクには、食文化を学ぶことができる博物館が多くあります。

エスキオ＝イツァソにある**イガルトゥベイティ農家博物館**ではシードラ(＝りんご酒)の伝統に触れることができ、トロサの**ゴロチャテギ製菓博物館**ではバスクの甘い文化を学べます。オルディシアには、食とガストロノミーの解説センターである、**デリカトゥス**があり、近くのイディアサバルには有名なチーズの製造と試食ができる体験施設もあります。

こうした知識は、各地にある料理学校でも活かされており、特に有名なのが「バスク・クリナリー・センター」。ここでは、スペイン国内外で活躍する一流の料理人たちが教鞭をとっており、大学レベルの教育が行われています。



バスク・クリナリー・センター

ワインの科学

ワイン造りを学ぶには、**ビジャ・ルシア**への訪問がおすすめ。体験型の施設はつい時間を忘れて熱中してしまうこと間違いなしです。その他にも、**チャコリ博物館**や**メンディビレ宮殿**内の**ビスカヤ・チャコリ博物館**がおすすめです。また、リンゴとシードラについての展示がある**サガルドエチェア**も必見です。



リオハ・アラベサ
Rioja Alavesa
ワインを巡る旅

“ワイン好きのための、バスクならではの魅力が詰まった食の旅。施設や体験メニューも年々増えています。美味しいものを味わいながら、美しい自然を楽しむ、あなただけの旅が待っています！”



リオハ・アラベサは小さな地域ですが、ブドウ栽培やワイン造りについて深く学べる場所です。古くから高品質で知られるこの地域ののワインは、スペイン最高格付け「**DOCaリオハ**」に認定されており、その品質は折り紙つき。

小規模で伝統的な家族経営の醸造所から、近代建築が目を引くワイナリーまで、個性豊かな施設でテイスティングや施設見学がお楽しみいただけます。

是非、ラグアルディア、ラバスティダ、エルシエゴの観光案内所にお立ち寄りください。あなたにぴったりの旅行コースを提案してくれることでしょう。

おすすめプラン！

ワイナリー訪問

リオハ・アラベサでは、ワインの奥深い魅力に触れる体験が必須です。
昔ながらの小さな地下ワイナリーである**Calado(カラド)**と、アートのような建築で知られる現代的な大型ワイナリーの両方を巡ることで、この地域ならではの多彩なワイン文化を感じられます。
ワイナリーの中では、伝統のブドウの足踏みや炭酸ガスを使った醸造法、温度や湿度管理といった工程を実際に見て学ぶことができます。

HP：
www.rutadelvinoderiojaalavesa.com/es

チャコリ
Txakoli



バスク由来ワイン

ビスカヤ湾から吹く温暖で湿った風は、バスク地方におけるチャコリ用ブドウの栽培を支えてきました。ブドウ畑は、ギプスコアやビスカヤの海岸沿い、またはアラバ県のアイアラ＝アジャラ渓谷にあり、何世代にもわたる歴史を持つカセリオ(農家)の周囲に広がっています。

チャコリは、以下の3つの原産地呼称により認められています：

ビスカイコ・チャコリーナ

ゲタリアコ・チャコリーナ

アラバコ・チャコリーナ

シードラ醸造所

TXOTH（チョッチ）！とは…

バスクの伝統的な農家の周囲では、昔からリンゴの木が育てられてきました。収穫してから約10日後に搾汁され、その果汁が自然発酵することで、地元でも愛される**サガルドア(シードラ)**が生まれます。

伝統的なシードラ醸造所は、**サガルドテギアク**と呼ばれ、その中にはレストランとして営業している場所もあります。1月から5月が営業シーズンですが、最近は通年営業するところも増えています。
定番メニューは、バカラオ（塩ダラ）のオムレツや骨付き牛ステーキなど。

「**チョッチ！**」という掛け声が聞こえたら、グラスを持ってシドラの樽のところへ向かいましょう。樽から直に注がれたシードルを飲める貴重な瞬間です。



Euskadi(エウスカディ＝バスク地方)を感じる旅のスタイルは人それぞれ、星の数ほどの見所があります。

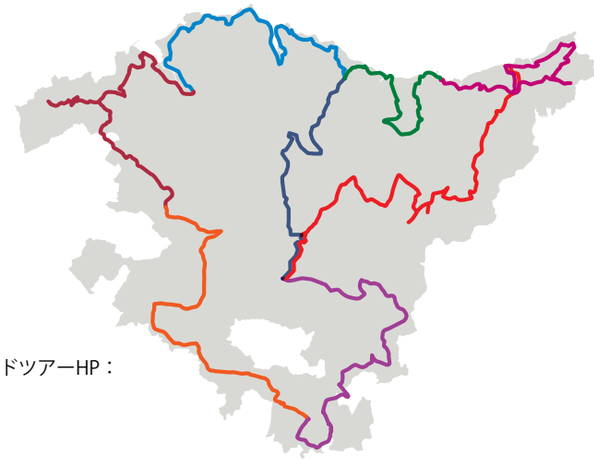
Euskadi Basque Country Grand Tour(エウスカディ・バスクカントリー・グランドツアー)では、バスクの魅力を全身で味わう旅を提案しています。
郷土料理であるピンチョスやワインを味わい、人気の景勝地や歴史ある村々、海岸線、心躍るミュージアム、そしてSNSでは表現しきれない3つの州都（ビルバオ、サン・セバスティアン、ビトリア＝ガステイス）の魅力を満喫する。まるで、自分が"生粋のバスク人"になったかのような、本物の旅が待っています。

各ルートは日帰りでも数日でも設計されていますので、どのような旅程の方にも、安心して楽しんでいただけます。

山と海、森と浜辺、美術館とグルメ、湖と街、荒野とワインの土地…その組み合わせは無限大。どのルートも驚きと発見がいっぱいです。

さあ、シートベルトを締めて出発しましょう。こちらでは食事の前にこう言います——
On egin! (バスク語でいただきます)

エウスカディ・バスクカントリー・グランドツアーHP：
www.thebasqueroute.eus



ステージ1 ビルバオ - レケイティオ
ステージ2 レケイティオ - サラウツ
ステージ3 サラウツ - サン・セバスティアン
ステージ4 サン・セバスティアン - ビトリア＝ガステイス
ステージ5 ビトリア＝ガステイス - ラグアルディア
ステージ6 ラグアルディア - オルドゥニャ
ステージ7 オルドゥニャ - ビルバオ
ステージ8 レケイティオ - ビトリア＝ガステイス

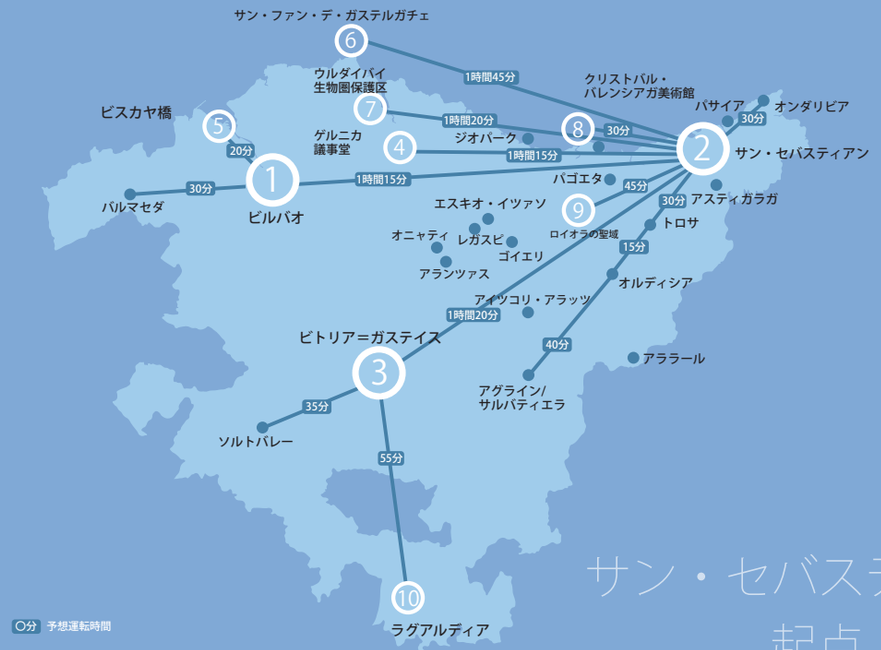
君たちはどうまわるか？

バスクの大きな魅力は、見るべき風景、感じるべき体験、味わうべき食文化が、小さな地域に密集していることです。たとえ短期間の旅だったとしても、忘れられない体験があなたを待っています。
豊かな自然、心地よい気候、古くからの文化、美食…すべてがぎゅっと凝縮されています。

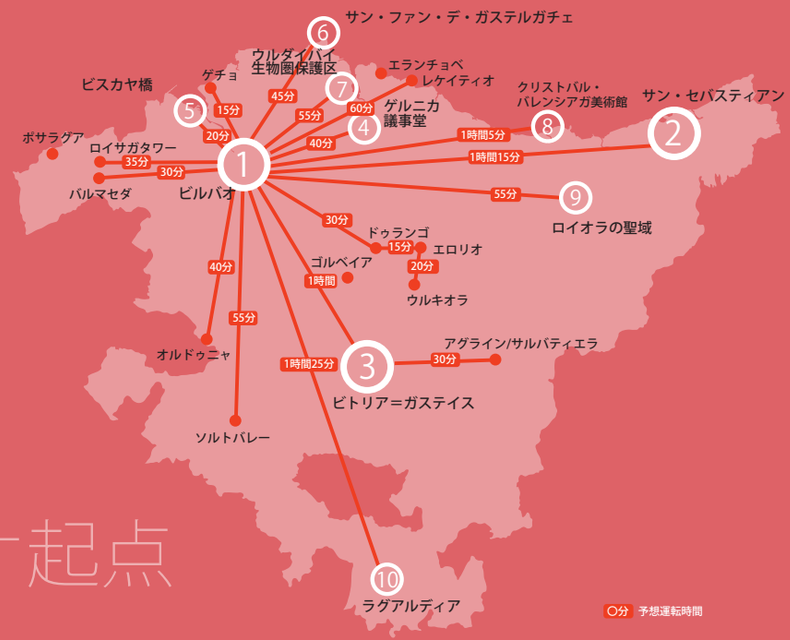
内陸の緑や歴史的な建物、海沿いのそよ風、リオハ・アラベサの芳醇なワインやピンチョスと一緒に楽しむチャコリ、最先端の建築と中世の街並みを歩くひととき――そのすべてが、ここではすぐ手の届く距離にあります。

地元の人々とふれあえば、バスクの大地と海に根ざした精神を感じられるでしょう。航海、産業、農業の分野で活躍した偉人たちの物語を知れば、この土地の誇りと活力がより深く伝わってきます。





サン・セバスティアン
起点



ビルバオ起点



ビトリア＝ガステイス
起点



街や村、野や山、海やビーチ、お祭りや美味しい料理、何千ものプランからお選びください

責任ある旅行客になる

家族旅行こそバスクへ

ベルメオ

ビルバオ
Bilbao

この現代的な都市では、グッゲンハイム美術館の美しさと、その外観を彩るカラフルで幻想的な彫刻作品を楽しむことができます。たとえば、巨大な花の子犬「プピー」、ジェフ・クーンズの「バルーン」シリーズ、ルイーズ・ブルジョワの巨大な「蜘蛛」のモニュメントなどです。

また、川沿いをクルーズ船で巡るのもおすすめで、ビルバオの工業の歴史を物語る有名なクレーン「カロラ」を見ることができます。

雨の日には、フィリップ・スタルクが設計した見事な柱が並ぶ「アスクナ・セントロア」で展示を楽しむのもよいでしょう。
もしアスレティック・クラブの試合が開催されていれば、サン・マメス・スタジアムを訪れることもお忘れなく。

さらに、ビスカヤ橋（壮大な吊り橋）や、クラシックカーの展示で有名なロイサガ塔を訪れるのもおすすめです。エンカルタシオネス地方では、伝統的なベレー帽を紹介するエンカルターダ帽子博物館や、壮観なポサラグア洞窟があなたを待っています。



サン・マメス



ビルバオ・グッゲンハイム美術館

ドノスティア/サン・セバスティアン
Donostia/San Sebastián



アクアリウム

海に囲まれたサン・セバスティアンでは、風の彫刻(ペイネ・デル・ビエント)を訪れたり、ラ・コンチャ湾を散歩したり、有名で特別なアクアリウム(＝水族館)を見学するなど、魅力的なプランが揃っています。
イゲルド山に登れば、ノスタルジックな遊園地を楽しむこともできます。
夏には、ラ・コンチャ、オンダレタ、グロスの3つのビーチが皆さんを待っています。やる気があれば、初心者向けのサーフィン教室にも参加できます。
ここはまさに美食の都。ピンチョス巡りはとても楽しく、選択肢も豊富です。
科学好きのお子様には、ユーレカ科学館やクチャ・グネアの子ども向けプレイパークがおすすめです。
トロサでは人形劇の博物館、アスペイティアではバスク鉄道博物館の訪問もおすすめです。

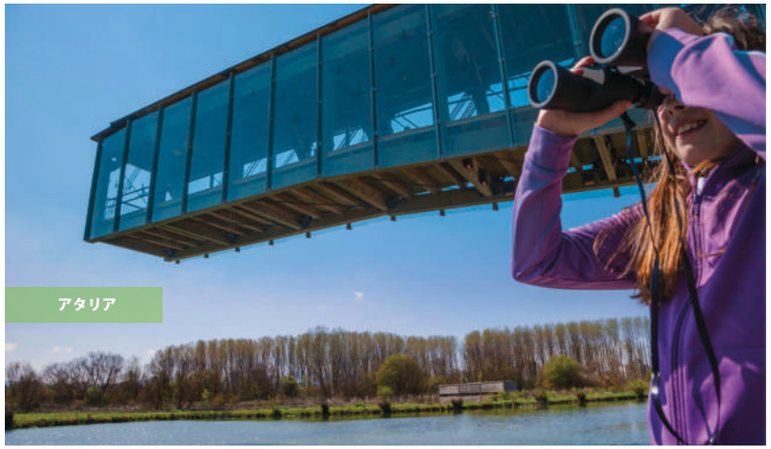


イゲルド山

ビトリア＝ガステイス

Vitoria-Gasteiz

ヨーロッパ屈指の緑の都市・ビトリア＝ガステイスは、芸術や歴史を感じる体験も豊富で、修復作業を見学できるサンタ・マリア大聖堂や、中世の面影が残る旧市街の散策がおすすめ。
職人通りやアートな壁画も見どころで、ガイド付きツアーもあります。


アタリア


城壁ルート

自然が好きなら、街を囲む「グリーンベルト」の一部・アタリアでバードウォッチングを。夏には、水質の高さで知られるブルーフラッグ認定のガライオやランダの湖畔ビーチでのんびりするのも◎。
雨の日には、自然科学博物館やナイフ・考古学を楽しめるビバット博物館でじっくり学びの時間を。

市外には家族で楽しめるスポットも充実。塩の谷アニャーナや、廃墟の修道院を活かしたサンタ・カタリナ植物園など、自然と文化を体験できます。

リオハ・アラベサ

Rioja Alavesa

リオハ・アラベサの都市である、ラグアルディアやラブラサといった城壁都市は中世を感じさせる街並みが有名です。

エルシエゴの「魔女の小屋」と呼ばれる巨石遺跡ドルメンや、ラグアルディアのサンタ・マリア教会、アバシアルの塔も見逃せません。
「ラ・オヤ集落博物館」では、この地方に最初に住んだ人々の暮らしを学べます。
ワイン好きには、地下に掘られた貯蔵庫（カラド）を備えたワイナリー見学がおすすめ。醸造のプロセスや土地の個性に触れる貴重な体験です。
景色を楽しむのも、この街の魅力の一つ。色合いが季節ごとに変わるブドウ畑に、ラグアルディアの湖、エブロ川、トローニョ山脈、さらには野鳥観察まで楽しめます。


サンタ・マリア（ラグアルディア）

ラグアルディアの市庁舎前広場では、正午になるとからくり時計が動き出し、人形たちが音楽に合わせて踊る楽しい演出も見られます。

40以上の多彩なビーチが広がる広大な海岸線は、家族向け、サーフィン向けなど、お好みに合わせて選ぶことができます。多くのビーチには設備が整い、身体に障がいのある方にも対応したアクセスも用意されています。

より海の魅力を感じたい方には、クルージングや、レケイティオのサンタ・カタリナ灯台の見学、さらには釣り、ダイビング、ボート漕ぎ、そして特に人気のサーフィンなどのマリンスポーツもおすすめです。

バスク海岸ジオパークでは、徒歩または船で「フリッシュ」と呼ばれる岩の地層を見ることができ、その壮大な自然を間近で体験できます。
また、船でガステルガチェ、ウルダイバイ河口、オンダリビアのチングディ湾を訪れることもできます。

家族にとって忘れられない体験になるのが、イルカや、運が良ければクジラまで観察できる海の生き物ツアーです。

コスタ バスカ(バスク海岸)

Costa Vasca


スマイアのサン・テルモ礼拝堂とフリッシュ

バスクの丘陵と渓谷

Montes y valles vascos



バスクでは、豊かな自然の中で唯一無二の体験を楽しむことができます。
登山が好きなら、特にゴルベア自然公園がおすすめ。美しい登山ルートを散策し、標高1,482mの山頂に立つ十字架まで挑戦してみましょう。また、ネルビオン川の源流では、270mもの落差を誇る滝が見られ、グヒュリの滝（約100m）も圧巻です。
自然の中で行うチーズ作り体験や乗馬も人気のアクティビティです。ゼアヌリの吊りキャビン「ツァイツ・エチェア」での宿泊など、ここでしか味わえない体験が皆様をお待ちしています。
そして、この地を語るうえで大切なのが神話の数々。森に住むバサジャウン、水の妖精ラミア、魔女ソルギニャたちの物語を知れば、きっとあなたの旅を豊かにしてくれるでしょう。


サルト・デル・ネルビオンの滝

エッセンシャル 5

ビスカヤ橋

Puente BIZKAIA



UNESCO

産業ツーリズム





美しい街並みを一望

ビスカヤ橋は2006年にユネスコの世界遺産に登録されました。

左岸にはポルトゥガレテ、右岸にはラス・アレナス(ゲチョ)が位置しています。

上部の歩行者用プラットフォームを歩くのをお見逃しなく。河口の素晴らしい景色を一望できます。

世界初の金属構造の運搬橋

ビルバオ橋は、4本の高さ61メートルの鉄塔と、160メートルの通路で構成された堂々たるランドマークです。通路上部に設置されたレールに沿ってゴンドラが動き、人や車を対岸へ運びます。

1893年に完成したビスカヤ橋は、金属構造で建てられた世界初の運搬橋として知られています。設計を手がけたのは、マドリードのレティーロ公園にある水晶宮の建築にも携わったアルベルト・パラシオです。

ビルバオ橋HP：
www.puente-colgante.com

ビスカヤ

BIZKAIA

ビスカヤ県、特にビルバオ地域は長い産業の歴史を持ち、それが現在でも風景や文化に残っているのが垣間見えます。こうした産業遺産は、観光としても非常に魅力的な要素になっています。

ビルバオ橋は産業遺産の象徴的な存在ですが、その他にもムスキス近郊にある**ポバル鍛冶場**は、昔の鉄の加工工程を間近に見られる施設として人気があります。


ポバル鍛冶場

近くのバルマセダには**エンカルターダ**という旧ベレー帽工場があり、ガイドツアーも楽しめます。ここではベレー帽を買ったり、鉄道員たちが使っていた「プチェラ」と呼ばれる鍋で煮込んだ豆料理を味わったりと、文化と食の両方を体験できます。
そのほかにも、**サンタ・カタリナ灯台**など、産業と文化にまつわる興味深いスポットが多数あります。


エンカルターダ



おすすめプラン

ラレイネタケーブル鉄道

トラパガランにあるラレイネタのケーブルカー（フニクラ）に是非乗ってみてください。車窓からは、鉱山の町ラ・アルボレダの風景と、鉱業時代の名残を感じることができます。

また、ガリャルタでは「鉱業博物館」と、かつてヨーロッパ最大の鉄鉱山だった「コンチャII鉱山」を見学することができます。

ケーブルカーHP：
www.euskotren.eus/funicular/turismo


コンチャII鉱山

GIPUZKOA ギプスコア

バスク地方の産業遺産は、鉱山、鉄道、セメント、武器、海という5つの重要なテーマに集約されます。

セラインでは、アイアコ・アリア自然公園内のアイズペア鉱区、オイアルツンのアルディトゥリ鉱山、イルンのイングルセタ鉱区などには、金属の加工や鉱山の歴史を物語る跡が今も残り、特に溶鉱炉や巨大ハンマーを使った製鉄の様子が再現されている場所もあります。ベアサインにあるイガルツァ遺構でも、かつての水力を使った製鉄の技術に触れられます。
エイバルは長年、武器製造で知られた町で、その歴史は「武器産業博物館」で紹介されています。

列車好きにはアスペイティアにある**「バスク鉄道博物館」**がおすすめで、蒸気機関車に乗って当時の旅気分を味わうことができます。
海に関する展示では、ドノスティアの「バスク海洋博物館」や、パサイアの**「アルバオラ造船所」**、そして同地では木造で建造された最後の大型カツオ漁船「エコアクティーボ・マテル号」を見学でき、漁業技術や海洋環境への理解を深められるプログラムも充実。

また、セメントの歴史を知るにはドノスティアの「レソラ・セメント博物館」、観光気分を味わいにはバスク最古の木造ケーブルカー「イゲルド・フニクラ」もおすすめです。


バスク鉄道博物館


アルバオラ造船所

おすすめプラン！



アルディトゥリで採掘の疑似体験

バスク最古の地層が広がるアイアコ・アリア自然公園。その中には、ローマ時代から採掘されていた鉱山があり、現在は坑道内を歩いて見学することができます。自然と歴史を同時に感じられる、スリル満点の体験です。

アルディトゥリHP：
www.arditurri.com


アイツペア鉱山

アラバ ARABA/ÁLAVA

昔ながらの鋤や脱穀機に「アフリア」の刻印を見つけたら、それはスペイン初の電気炉を導入した製鉄所の一つで作られた証です。ここは、ビスカヤ県のサンタ・アナとともに、現代製鉄の出発点となった重要な存在です。

アラバ県のアニャーナでは、7,000年の歴史を持つ塩の産地を訪れることができます。かつて海だった土地から湧き出す高濃度の塩水を使って、今も手作業で塩を作っており、その質の高さは世界中の料理人に評価されています。見学では体験型のプログラムも楽しめます。

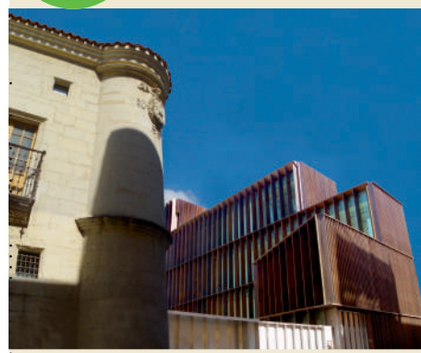
そして、一度はトランプで遊んだことがある人も多いでしょう。
そのカード、もしかするとビトリア＝ガステイスのフルニエ・トランプ工場で作られたものかもしれません。


アニャーナ塩田


アフリア工場



おすすめプラン！



ビトリア＝ガステイスの旧市街にあるベンデーニャ宮殿には、考古学とトランプ文化が融合したユニークな博物館「ビバット博物館」があります。

ここでは、昔の暮らしを物語る遺物と、世界各地の印刷技術やトランプの歴史を一度に楽しめます。トランプ好きにも考古学ファンにもおすすめです！

ビバット美術館HP：
arkeologiamuseoabibat.eus



いざミュージアムへ



ファインアート（ビトリア＝ガステイス）

まずは、どの美術館に行くのかを決めなければなりません。

ビルバオでは、建築とアートの象徴**「グッゲンハイム美術館」**は外せません。**「ビルバオ美術館」**では中世からの名作が展示されています。他にも、考古学や民俗学、そして海の歴史を伝える博物館が充実しています。

ゲルニカには「平和博物館」、ムスキスにはかつての鍛冶場を再現した「ボバル鍛冶場」、そして鉱山の町ガリャルタには「鉱業博物館」があります。

サン・セバスティアンでは、社会の移り変わりを伝える「サン・テルモ博物館」、美しい海の生き物が見られる「水族館」も人気です。

写真好きにはサラウツの「フォトミュージアム」、人形劇好きにはトロサの「トピック」がおすすめ。ファッションファンには、バレンシアガの作品を集めたヘタリアの**「クリストバル・バレンシアガ博物館」**も必見です。

自然とアートが融合する「チリーダ・レク」では、屋外で彫刻を楽しめます。

ビトリア＝ガステイスでは、アート、自然、そして歴史を幅広く楽しめる博物館が揃い、特にトランプと考古学を融合した**「ビバット博物館」**がおすすめです。

さらに郊外では、伝統陶器やバスク文化に触れられる博物館も訪れる価値があります。



サン・テルモ美術館（サン・セバスティアン）

世界に広まるバスクの芸術



バスクでは、音楽や演劇など多彩な国際的なイベントが各地で開催されています。

ビトリア＝ガステイスや**サン・セバスティアン**では、世界的に有名なジャズフェスティバルが、多くの音楽ファンを魅了しており、**ゲチョ**では、フォーク・ブルース・ジャズなどジャンル別の音楽祭が年間を通じて楽しめます。

ビルバオでは、オペラや交響楽団による本格的な公演のほか、大規模音楽フェス**「BBKライブ」**も人気です。

サン・セバスティアンでは国際映画祭をはじめ、クラシック音楽やファンタジー映画のイベント、即興詩(ベルツォ)大会などが開催されます。
アラバ県でも、古楽フェス、ダンスイベント、マジックショー、ボードゲームフェア、ロックフェスなど多彩な催しがあり、文化的な魅力にあふれています。



バスク自治州観光局
turismo.euskadi.eus/en
アラバ観光局
www.alavaturismo.eus
ビスカヤ観光局 アムリオ
www.visitbiscay.eus
ギプスコア観光局
www.gipuzkoaturismoa.eus

観光局

アラバ県

アムリオ
945 393 704 · www.amurrioturismo.com
エルシエゴ
945 606 632 · www.elciego.es
ラバスティーダ
945 331 015 · www.labastida-bastida.org
ラグアルディア
945 600 845 · www.laguardia-alava.com
ムルギア
クアドリラ・デ・ゴルベイアルデア
945 430 440 · www.gorbeialdekokuadrilla.eus
ケハナ
945 399 414 · www.aiaraldea.org
サリナス・デ・アニャーナ
945 355 089 · www.ananaturismo.com
サルバティエラ-アグライン
945 302 931 · www.visitlautada.com
サンタ・クルス・デ・カンペーソ
クアドリラ・デ・モンターニャ・アラベサ
945 405 424 · www.arabakomendialdea.eus
ビリャヌエバ・デ・バルデゴビア
945 353 040 · www.valdegovia.com
ビトリア＝ガスティス
945 161 598 · www.vitoria-gasteiz.org

ビスカヤ県

アレナ (ムスキス)
662 547 468 · www.visitenkarterri.com
バキオ
946 193 395 · www.bakio.eus
バルマセダ
946 802 976 · www.visitenkarterri.com
バラカルド (BEC)
944 995 821 · www.visitbarakaldo.eus
ベルメオ
946 179 154 · www.bizibermeo.eus
ビルバオ観光局
944 795 760 · www.bilbaoturismo.net
ビルバオ空港
944 031 444 · www.euskaditurismo.eus
ビルバオ、グッゲンハイム
944 795 760 · www.bilbaoturismo.net
ドゥランゴ
946 033 938 · www.turismodurango.net
エロリオ
946 820 164 · 688 776 270 · www.visitelorrio.com
エンカルタシオネス・エンカルトゥール
946 802 976 · www.visitenkarterri.com
ガステルガチェ
946 179 154 · www.bizibermeo.eus
ゲルニカ・ルモ
946 255 892 · www.gernikainfo.eus
ゲチョ
944 910 800 · www.getxo.eus/turismo
ゴルデショラ
946 799 704 / 946 798 061 · www.gordexola.eus
ゴルリス
946 774 348 · www.visitgorliz.eus
カランツァ
946 806 928 · www.karrantza.org
レケイティオ
946 844 017 · www.lekeitioturismo.eus
メンダタ
946 257 204 · www.mendata.eus
ムンダカ
946 177 201 · www.mundakaturismo.com
ムスキス
946 802 976 · www.visitenkarterri.com
ムシカ
946 257 609 · www.urremendi.org
オンダロア
946 831 951 · www.ondarroa.eus
オルドゥニャ
945 384 384 · www.ordunaturismo.com
オロスコ
946 122 695
www.gorbeiaeuskadi.com
プレンツィア
946 774 199 · www.visitplentzia.com
ポルトゥガレテ
944 729 314 · www.portugalete.org
サントゥルツィ
944 839 494 · www.visitsanturtzi.eus
ソペラ
944 065 519 · www.turismoa.sopelaudala.org
ソプエルタ
946 104 028 · www.visitenkarterri.com
トルキオス＝トルキオス
946 109 604 · www.turtzioz.org
ウルダイバイ＝ブストゥリアルデア
946 257 069 · www.turismourdaibai.com
シエルベナ
946 404 974 · www.zierbena.net

ギプスコア

アランツァス
943 796 463 · www.turismodebagoiena.eus
アタウン
943 180 335 · www.goierriturismo.com
アスコイティア (ロイオラ)
943 851 100
www.urolaturismo.eus
アスペイティア (ロイオラ)
688 874 861 · www.urolaturismo.eus
ベルガラ
943 769 003 · www.bergaraturismo.eus
デバ
943 192 452 · www.deba.eus
エレンテリア
943 494 521 · www.oarsoaldeaturismoa.eus
エスコリアツァイバラウンディ博物館
943 715 453 · www.eskoriatza.eus
ゲタリア
943 140 957 · www.getariaturismo.eus
オンダリビア LEISURE PORT
943 576 102 · www.bidasoaturismo.com
オンダリビア
943 643 677 · www.bidasoaturismo.com
イディアサバル
943 188 203 · www.idiazabalturismo.com
イルン
943 020 732 · www.bidasoaturismo.com
レガスピ UROLA GARAIA DISTRICT (LENBUR)
943 730 428 · www.lenbur.com
レインツ・ガツァガ
943 714 792 · 943 714 746 · www.gatzagaturismo.com
リサルスティ (パルケチェア)
943 582 069 · lizarrusti.com
ムトゥリク
943 603 378 · www.mutriku.eus/turismo
オイアルツン＝オアルソアルデア
943 508 913 · www.oarsoaldeaturismoa.eus
オニャティ
943 783 453 · www.oñatiturismo.eus
オルディシア
943 882 290 · www.delikatuz.com/es/turismo-en-ordizia
オリオ
943 835 565 · turismo.orio.eus
オルマイステギ
943 889 900 · www.zumalakarregimuseoa.eus
パサイア・オアルソアルデア
943 341 556 · www.oarsoaldeaturismoa.eus
サン・セバスティアン観光案内所
943 481 166 · www.sansebastianturismoa.eus
セグラ (カーサ・アルディシャーラ)
943 801 749 · www.ardixarra.eus
トロサ トロサルデア観光案内所
943 697 413 · www.tolosaldea.eus
サラウツ
943 830 990 · www.turismozarautz.eus
ゼガマ
943 802 187 · www.zegamaturismoa.net
セライン
943 801 505 · www.zerain.eus
セストア
943 868 812 · www.zestoaturismo.net
スマイア
943 143 396 · www.zumaia.eus/turismo
スマラガ (ラ・アンティグア)
943 722 042 · www.urolagaraia.com

エコツーリズム

バスク・エコツーリズム
www.ecoturismoeuskadi.eus

自然公園

ウルダイバイ生物圏保護区
946 257 609 · www.turismourdaibai.com
946 870 402 (Ihobe) · www.ekoetxea.eus
ゴルベイア自然公園
945 430 440 · 946 122 695
www.gorbeiaeuskadi.com
アイツコリ・アラッツ自然公園
Anduetza 943 802 187 · 688 623 609
アランツァス 943 782 894 · 699 335 183
goierriturismo.com
アララール自然公園
Barandiaran 943 180 335 · 688 895 069
リサルスティ 943 180 335 · 688 895 069
www.gipuzkoanatura.eus
ウルキオラ自然公園
946 814 155 · www.urkiola.net
アルマニョン自然公園
946 560 079 · www.visitenkarterri.com
パゴエタ自然公園
943 835 389
www.gipuzkoanatura.eus
アイアコ・アリア自然公園
943 494 521
www.gipuzkoanatura.eus
イズキ自然公園
945 410 502 · www.izkiparkea.eus
バルデレホ自然公園
945 353 146 · www.valderejoparkea.eus

ジオパーク

ジオパーク
www.geoparkea.eus

トレッキング

バスク自治州でのトレッキング
www.senderismoeuskadi.eus
カミーノ・デ・サンティアゴ
www.turismo.euskadi.eus

サイクリング観光

バスク自治州MTB
www.turismo.euskadi.eus/es/btt
グリーンウェイ
www.viasverdes.eus

サーフィン

サーフィン・エウスカディ
946 195 861 · www.surfingeuskadi.eus

アクティバ

アクティバ
637 770 033 · www.aktiba.eus

アトラエ

アトラエ
689 77 54 23 · www.atrae.eu

交通

アラバ

空港
945 163 500 · 913 211 000
www.aena.es
鉄道レンフェ
Plazuela de la Estación s/n, Vitoria-Gasteiz
912 432 343 · www.adif.es
バス
Estación central Vitoria-Gasteiz · 945 161 666
Autobuses Urbanos de Vitoria-Gasteiz TUVISA
945 161 054 · www.vitoria-gasteiz.org/transporte
トラム バスク鉄道
944 333 333
www.euskotren.eus

ビスカヤ

空港
ビルバオ-ロイウ· 913 211 000 (アエナ)
www.aena.es
クルーズ船・フェリー
944 234 477 · www.brittany-ferries.es
鉄道
アバンド・インダレシオ・プリエト駅（レンフェ）)
Plaza Circular, 2 · 912 432 343 · www.adif.es
バスク鉄道 · 944 333 333 · www.euskotren.eus
コンコルディア駅、FEVEビルバオ
バイレン通り 2 · 912 320 320
www.renfe.com
バス
インターモーダル（バスステーション）
Gurtubai 1 · 944 395 077 · www.bilbaointermodal.eus
ビルボバス（市営バス）
946 855 000 · 944 790 981
www.bilbao.eus/bilbobus
ビスカイバス（県営バス、空港バス）
946 125 555 · www.bizkaia.eus
メトロ・ビルバオ
946 855 000 · www.metrobilbao.eus
トラム
944 333 333 · www.euskotren.eus

ギプスコア

空港
Gabarri 22 · 20280 Hondarribia
913 211 000 · www.aena.es
バス
ドノスティア-サン・セバスティアン バスステーション
943 475 150
Federico García Lorca, 1
www.estaciondonostia.com
Dバス (都市バス)
943 000 200 · www.dbus.eus
ルラルデ・バス (都市間バス)
943 300 340
www.lurraldebus.eus
鉄道
ドノスティア・サン・セバスティアン国際空港
パセオ・デ・フランシア 22 · 912 432 343
www.adif.es
アマラ駅（バスク鉄道）
パセオ・デ・エアソ 9 · 944 333 333

Compromiso Calidad Turística
Konpromisoa Kalitate Turistikoarekin

10

バスクの10の見どころ

バスクが一度は訪れたい観光地となる理由は様々です。その魅力は、人々とのふれあい、豊かな歴史、多彩な文化遺産に触れたときに実感できるでしょう。
そして何より、美味しい料理を囲んで語り合うひとときに、さらに深く感じられるはずです。





















tourism.euskadi.eus/en

EUSKADI
BASQUE COUNTRY

EUSKO JAURLARITZA
TURISMO, MERKATARITZA ETA KONTSUMO SAILA

GOBIERNO VASCO
DEPARTAMENTO DE TURISMO, COMERCIO Y CONSUMO